

平成25年度

かながわ文化芸術振興計画 年次報告

平成26年11月

目 次

I	基本的な施策の実施状況	
1	県民の文化芸術活動の充実	
(1)	県民の文化芸術活動の充実	1
(2)	地域の伝統的な文化芸術の保存、継承、活用	8
(3)	芸術家等の育成等に関する支援等	11
(4)	文化芸術団体の育成等	14
(5)	子どもの文化芸術活動の充実	15
(6)	学校教育における文化芸術活動の充実	18
(7)	高齢者、障害者等の文化芸術活動の充実	20
2	文化資源を活用した地域づくりの推進	
(1)	文化芸術に関する交流の推進	21
(2)	創造的活動等の推進	23
(3)	文化資源の活用	24
(4)	景観の形成	26
3	文化芸術の振興を図るための環境整備	
(1)	学校施設、公共的施設の活用等	27
(2)	県立文化施設の充実	27
(3)	情報通信技術の活用	29
(4)	文化芸術活動に対する支援の促進	31
(5)	顕彰の実施	31
II	進行管理のための参考指標	
・	県立文化施設利用者数	32
・	文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識、満足度(全県・地域別)	32
・	県立文化施設の利用率	34
	(県民ホール・神奈川芸術劇場・音楽堂・かながわアートホール・青少年センター)	
・	過去1年間に美術鑑賞等の文化芸術の鑑賞・活動を行ったことのある人の割合	40
III	年次報告のまとめ(文化芸術振興審議会意見)	43
IV	平成21~25年度を振り返って(文化芸術振興審議会意見)	45

かながわ文化芸術振興計画年次報告について

かながわ文化芸術振興計画は、平成 21-25 年度の 5 か年間に取り組む基本的な施策を掲げています。この年次報告は、それぞれの施策について、その主な取組み状況についてまとめるとともに、計画の進行管理に当たっての参考指標を掲げており、これらについて県文化芸術振興審議会から意見を得ながら、計画の進行管理を行うものです。

「Ⅰ 基本的な施策の実施状況」においては、各事業の開催回数や参加人数などの経年比較に加え、アンケートで示された施設利用者の満足度を記載しています。

「Ⅱ 進行管理のための参考指標」については、施設の利用者数、利用率など量的なもの、文化芸術に関する県民の意識など質的なものの両面を取り上げています。

I 基本的な施策の実施状況

1 県民の文化芸術活動の充実

(1) 県民の文化芸術活動の充実

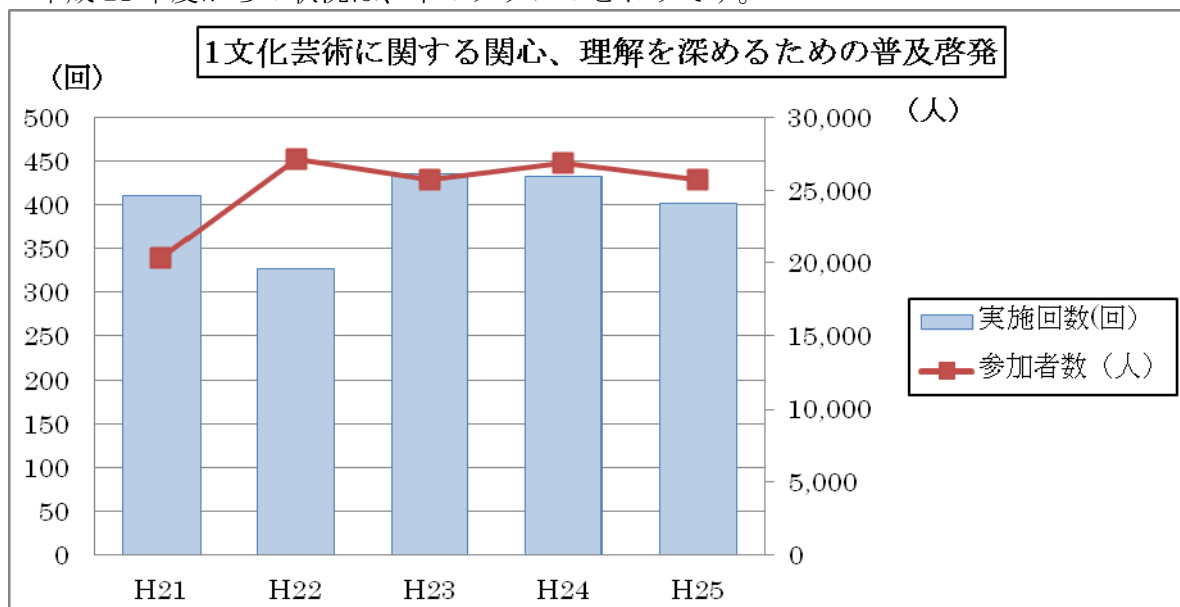
① 文化芸術に対する関心、理解を深めるための普及啓発

文化芸術に対する関心や理解を深めるために、県立文化施設での文化芸術に関する講座・講演会等の開催や、広報誌・ホームページなどで文化芸術に関する情報提供を行いました。

平成 25 年度は、講座・講演会を合計 401 回開催し、あわせて 25,721 名の参加がありました。平成 24 年度と比較すると、開催回数(433 回)が 7.4%減少し、参加者数(26,888 名)は 4.3%減少しました。

文化芸術に関する公演等の情報誌「KANAGAWA ARTS PRESS」(神奈川県総合文化芸術情報誌)を前年度と同じく年 6 回発行しました。また、県内の公演や展覧会等の情報をホームページで発信する「かな@(アット)」を運営しました。

平成 21 年度からの状況は、下のグラフのとおりです。



※ 平成 21 年度から平成 22 年度の実施回数の減、参加者数の増は、川崎図書館の事業の影響によります。

① 県立文化施設での文化芸術に関する講座、講演会等の開催

施設名	主な内容と事業	H24		H25		増減(%)	
		実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
県民ホール本館	文化芸術に対する知識や教養を高めるため、舞台芸術講座、パイプオルガン・プロムナード・コンサートなどを実施した。 (平成 25 年 12 月から平成 26 年 9 月まで、改修工事のため休館)	16	4,694	16	5,287	0	12.6
芸術劇場 神奈川	舞台芸術に対する知識や理解力を高めるため、オープントーク、KAAT 舞台芸術講座、ワークショップなどを実施した。	12	1,242	12	1,384	0	11.4
音楽堂	演奏や演目の理解を深めるため、体験型コンサートなどを実施した。	1	700	1	819	0	17
アートホール かながわ	音楽を気軽に楽しんでいただくため、テーマを設定し解説をつけたカジュアルコンサートや CD コンサートを実施した。	16	988	14	535	△12.5	△45.9
美術館 近代	近代美術に対する知識や教養を高めるため、ギャラリートーク、講演、ワークショップなどを実施した。	91	2,505	59	1,533	△35.2	△38.8
近代文学館 神奈川	近代文学に対する知識や教養を高めるため、ギャラリートーク、講演会、朗読会、講座、映画会などを実施した。	67	7,404	71	7,632	6	3.1
金沢文庫	県民の学習意欲や時代のニーズに応える特別講演会、夏期・冬期講座、連続講座、子ども向け講座などを実施した。	36	3,779	36	3,496	0	△7.5
博物館 歴史	文化芸術に対する関心や知識を高めるため、展示解説、ミュージアムトーク、講演会などを実施した。	43	2,367	55	2,412	27.9	1.9
図書館 県立	文化芸術に関する理解を深めるため、レコード鑑賞会、名作映画会、県民公開講座などを実施した。	36	1,308	36	1,084	0	△17.1
図書館 川崎	科学技術における文化芸術の知識や教養を高めるため、映画上映会、映画監督のトークイベントを実施した。	115	1,901	101	1,539	△12.2	△19.0

② 広報誌、ホームページによる普及啓発の実施 (4にも掲載)

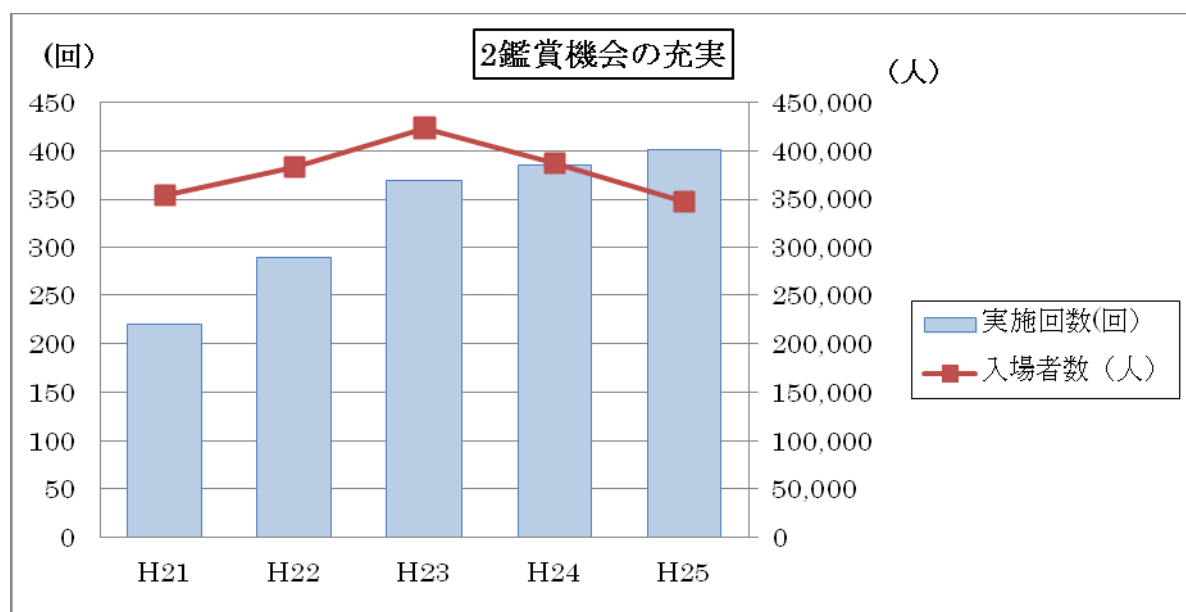
事業内容	H24	H25	増減(%)
	発行回数	発行回数	発行回数
文化芸術に関する公演、催し、講座等の紹介や各種公演等の主要な出演者や演出家の紹介記事等を掲載する情報誌「KANAGAWA ARTS PRESS」(神奈川総合文化芸術情報誌)を発行した。	6	6	0
各種公演や展覧会等の情報や文化芸術に関する関心、理解を深めるために役立つホームページ「かな@(アット)」を運営した。			

2 鑑賞機会の充実

県立文化施設での講演、展覧会などの鑑賞機会の提供や優れた文化芸術の鑑賞機会を提供する文化芸術団体への支援により、県民の鑑賞機会の充実を図りました。

平成 25 年度は、公演や展覧会、コンサートなどの鑑賞を合計 401 回実施し、あわせて 348,057 人の入場者数がありました。平成 24 年度と比較すると、実施回数(385 回)は 4.2%増加し、入場者数(387,284 人)は 10.1%減少しました。

平成 21 年度からの状況は、下グラフのとおりです。



※ 平成 23 年度から平成 24 年度の入場者数の減は、神奈川芸術劇場、近代美術館葉山館、神奈川近代文学館の平成 23 年度の大型公演、大型展示の影響によります。

① 県立文化施設での公演事業の実施

施設名	主な内容と事業	H24		H25		増減(%)	
		実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
県民ホール 本館	質の高い文化芸術の鑑賞機会を充実するため、オペラ、バレエ・舞踊、オーケストラコンサート、演劇、展覧会などを実施した。(平成 25 年 12 月から平成 26 年 9 月まで、改修工事のため休館)	52	58,276	55	44,573	5.8	△23.5

施設名	主な内容と事業	H24		H25		増減(%)	
		実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
芸術劇場 神奈川	舞台芸術専用の劇場で身近に舞台芸術を鑑賞できる機会の充実を図るため、演劇、古典芸能、舞踊、パフォーマンスなどを実施した。	197	56,903	219	53,296	11.2	△6.3
音楽堂	質の高い文化芸術を身近に鑑賞できる機会の充実を図るため、オーケストラコンサート、合唱、舞踊、邦楽などを実施した。	62	31,741	62	33,402	0	5.2
アートホール かながわ	文化芸術に身近に触れる機会の充実を図るため、オーケストラコンサート、CDコンサート、キッズコンサートなどを実施した。	16	988	14	535	△12.5	△45.9

② 県立近代美術館での美術作品の展覧会の開催

施設名	主な内容と事業	H24		H25		増減(%)	
		実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
葉山館	優れた近代美術を鑑賞する機会を提供し、近代美術に対する知識及び教養の向上を図るための展覧会を開催した。	5	40,562	4	29,490	△20	△27.3
鎌倉館	同上	4	41,306	4	41,213	-	△0.2
別館 鎌倉	同上	4	20,528	4	18,808	-	△8.4

③ 県立博物館での文化芸術に関する資料等の展示、展覧会の開催 (6にも掲載)

施設名	主な内容と事業	H24		H25		増減(%)	
		実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
博物館 歴史館	文化芸術に関する資料等の展示や特別展を実施した。	4	41,792	3	34,515	△25	△17.4
文庫 沢	学習意欲や時代のニーズに合った分かりやすい展覧会、企画展を開催した。	6	37,751	6	32,910	0	△12.8

④ 県立神奈川近代文学館での文学資料に関する展示、展覧会の開催

主な内容と事業	H24		H25		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
県にゆかりのある近代文学に関する文学資料を展示する、特別展、企画展、収蔵コレクション展などを開催した。	8	27,973	7	33,715	△12.5	20.5

⑤ 文化芸術団体との連携による鑑賞機会の提供

主な内容と事業	H24		H25		増減(%)	
	実施数	人数	実施数	人数	実施数	人数
(財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団を通じて県民の音楽鑑賞機会の充実を図るため、定期演奏会、特別演奏会などの演奏会を実施した。	27	29,464	23	25,600	△14.8	△13.1

③ 県民の文化芸術活動や発表機会の支援

県民が文化芸術活動（創作・練習・稽古・発表等）を行う際に利用できる文化施設を整備し、運営するとともに、県民が参加できる展覧会やコンクールなどの開催により、県民自らが行う文化芸術活動を支援しました。

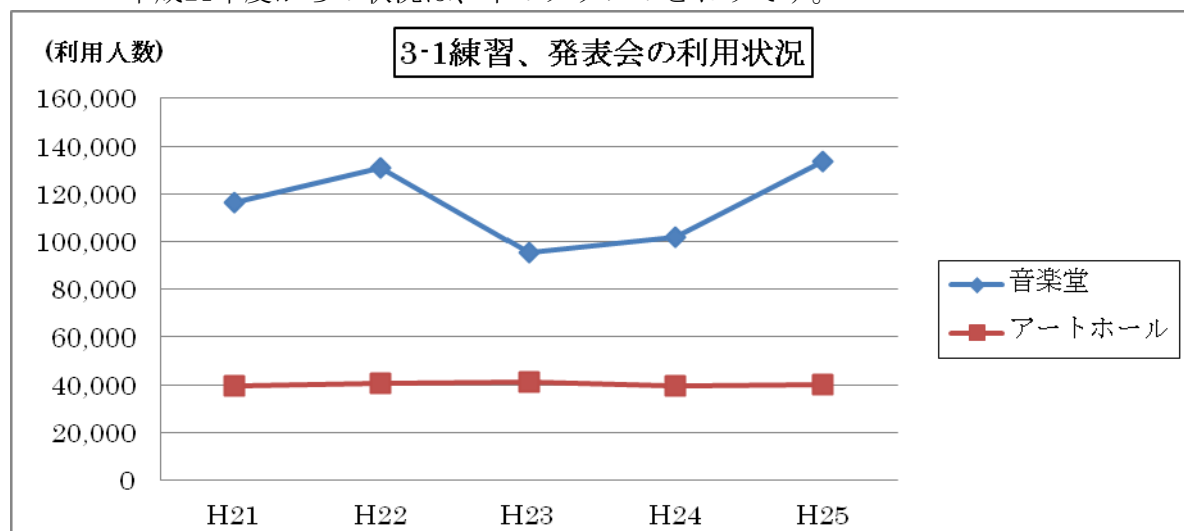
平成 25 年度は、主に発表会やコンクールに利用されている音楽堂の利用が 134,008 人、主に練習や発表会に利用されているかながわアートホールの利用が 40,440 人でした。平成 24 年度と比較すると、音楽堂の利用人数(101,870 人)は 31.5% 増加し、アートホールの利用者数(39,815 人)は 1.6%増加しました。

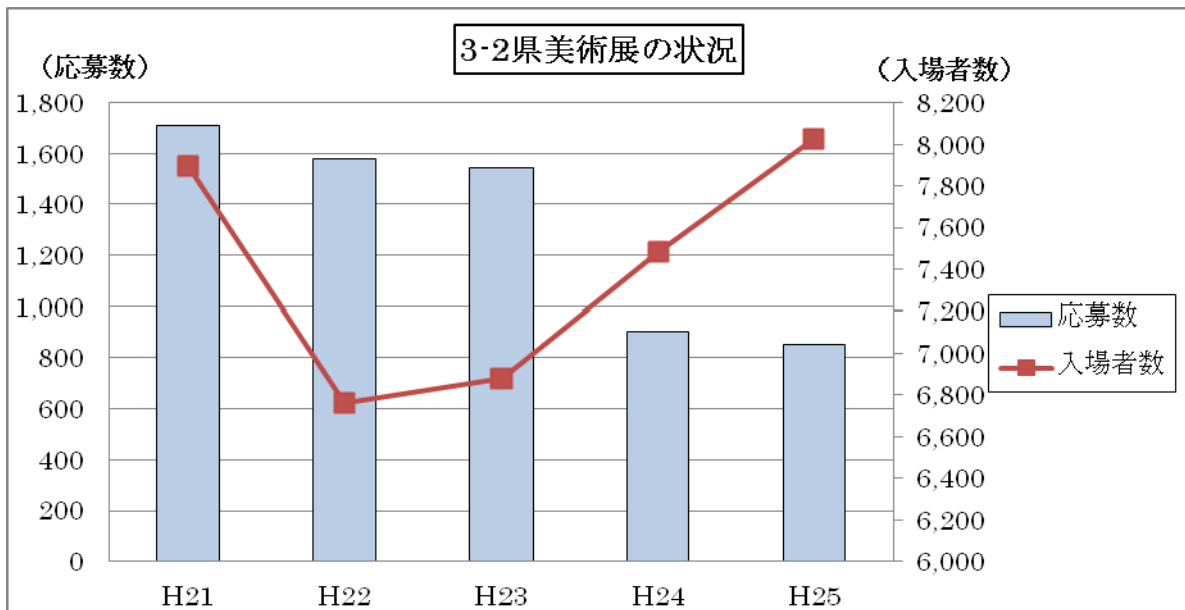
平成 25 年度の県美術展は、応募数 852 点で入場者数は 8,028 人でした。平成 24 年度と比較すると、応募数(902 点)は 5.5%減少し、入場者数(7,482 人)は 7.3%増加しました。

補助金や助成金の交付、共催等の支援については、前年度より補助金の交付が 1 件減少し、助成金の交付が 2 件減少し、共催等の支援は同数でした。

アマチュア・ミュージシャンなどの発表機会の支援については、平成 25 年度の参加数は 8 組で、入場者数は 800 人、平成 24 年度(1,600 人)と比較すると、50%減少しました。

平成21年度からの状況は、下のグラフのとおりです。





※ 平成24年度の応募数の減は、写真の出品数の限定等、応募条件の変更の影響によります。

① 県立文化施設での練習・発表等の活動の場の提供 (8 21にも掲載)

<音楽堂>

主な内容と事業	H24	H25	増減(%)
	利用人数	利用人数	利用人数
音楽活動の場の充実を図るため、オーケストラや合唱、吹奏楽などの発表会やコンクールを実施した。	101,870	134,008	31.5

<かながわアートホール>

主な内容と事業	H24	H25	増減(%)
	利用人数	利用人数	利用人数
個人の音楽活動の練習や発表の場として、オーケストラ、室内楽、器楽、舞踊、邦楽、演劇、講演などの利用をした。	39,815	40,440	1.6

② 県美術展の開催 (9にも掲載)

内容	H24			H25			増減(%)		
	応募数	入選・入賞	入場者	応募数	入選・入賞	入場者	応募数	入選・入賞	入場者
県内の作家に作品発表の機会を提供し、その創作意欲を助長するため、第1期展・第2期展(県民ホール)、厚木巡回展を実施した。	902	415	7,482	852	408	8,028	△5.5	△1.7	7.3

③ 文化芸術団体の創作・発表等の活動への助成等による支援 (5 10にも掲載)

主な内容と事業	H24		H25		増減(%)	
	補助数	助成数	補助数	助成数	補助数	助成数
文化芸術団体が行う、公演、展示、コンクール、ワークショップ、交流事業に対し補助金、助成金による支援を実施した。	7	21	6	19	△14.3	△9.5

④ 伝統芸能、舞台芸術作品等の公演などへの共催等による支援

主な内容と事業	H24	H25	増減(%)
	事業数	事業数	事業数
本県の伝統文化の普及継承の機運を醸成し、優れた舞台芸術に触れる機会を充実するため、歌舞伎、人形浄瑠璃、地芝居、民俗芸能、相模人形芝居、能・狂言などの公演を支援した。	12	12	0

⑤ アマチュア・ミュージシャンなどの発表機会の支援 (9にも掲載)

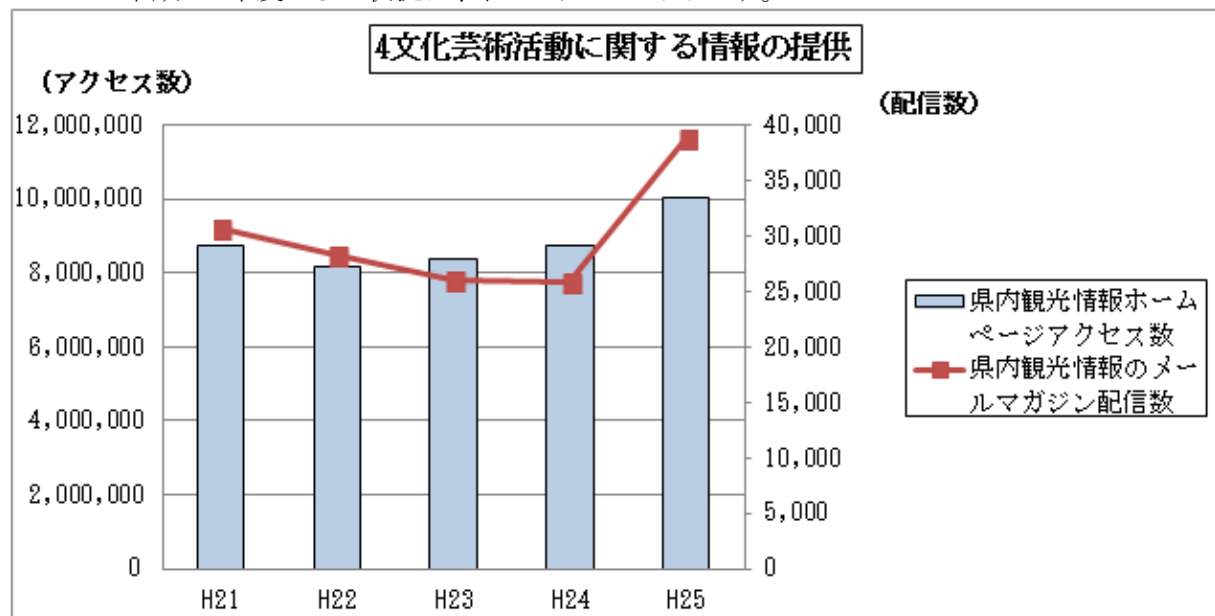
主な事業	H24		H25		増減(%)	
	参加数	入場者数	参加数	入場者数	参加数	入場者数
カナガワミュージックサミット (H25年は荒天のため、5組終了時点で中止)	7組	1,600	8組	800	14.3	△50

4 文化芸術活動に関する情報の提供

文化芸術の鑑賞や活動を行う際に必要な、文化芸術の催しや文化芸術団体の活動情報などを定期的な広報誌やホームページなどで提供しました。

文化芸術に関する公演等の情報誌「KANAGAWA ARTS PRESS」(神奈川県総合文化芸術情報誌)を前年度と同じく年6回発行しました。また、県内の公演や展覧会、観光情報等の情報をホームページで発信しました。

平成21年度からの状況は、下のグラフのとおりです。



① 文化芸術に関する広報誌の発行 (1にも掲載)

事業内容	H24	H25	増減(%)
	発行回数	発行回数	発行回数
文化芸術に関する公演、催し、講座等の紹介や各種公演等の主要な出演者や演出家の紹介記事等を掲載する情報誌「KANAGAWA ARTS PRESS」(神奈川県総合文化芸術情報誌)を発行した。	6	6	0
各種公演や展覧会等の情報や文化芸術に関する関心、理解を深めるために役立つホームページ「かな@(アット)」を運営した。			

② ホームページによる公演情報、文化芸術活動のための情報の提供 (19 24にも掲載)

事業内容	H24	H25	増減(%)
	アクセス数	アクセス数	アクセス数
イベントなどの県内観光情報ホームページの運営	8,730,000	10,010,000	14.7
イベントなどの県内観光情報をメールマガジンで配信	25,800	38,744	50.2

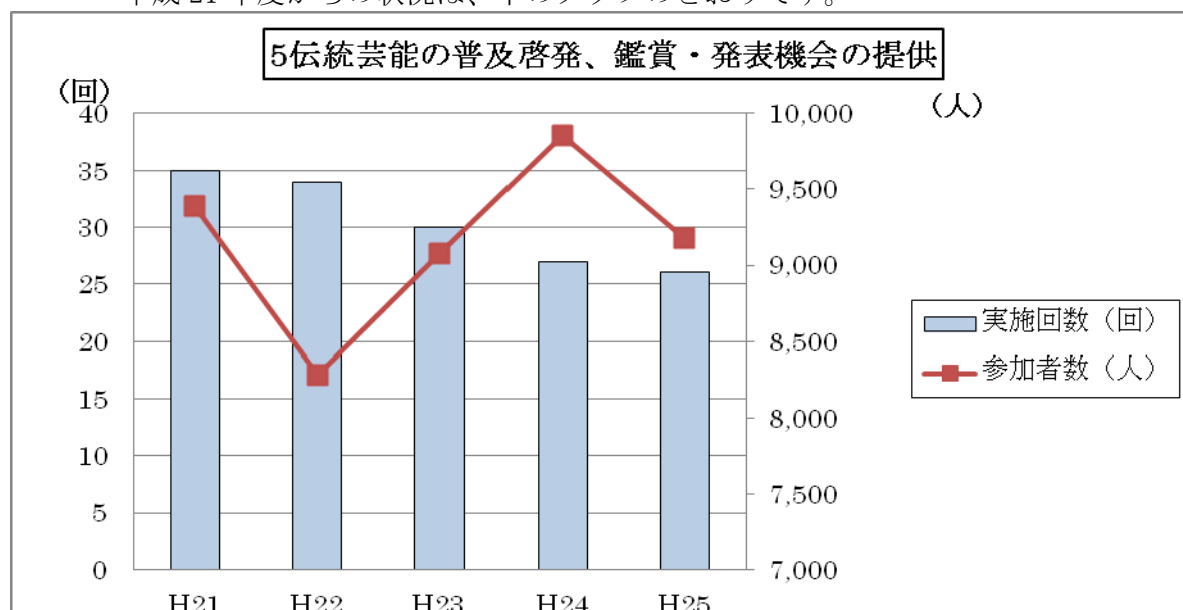
(2) 地域の伝統的な文化芸術の保存、継承、活用

5 伝統芸能の普及啓発、鑑賞・発表機会の提供

地域の伝統芸能の大切さについての理解、認識を深めるため、人形浄瑠璃文楽などの公演を開催するとともに、日本舞踊で学ぶ和の作法などの青少年向け伝統芸能ワークショップを開催し、人材の育成を図りました。

平成 25 年度は、ワークショップや公演、鑑賞教室やフェスティバルなどを合計 26 回実施し、あわせて 9,174 人の参加者数がありました。平成 24 年度と比較すると、実施回数(27 回)は 3.7%減少し、入場者数(9,852 人)は 6.9%減少しました。

平成 21 年度からの状況は、下のグラフのとおりです。



※平成 22 年度の参加者数の減は、東日本大震災の影響によります。

① 伝統芸能にかかわるワークショップの実施 (12にも掲載)

主な事業	H24		H25		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
・相模人形芝居学校交流ワークショップ ・日本舞踊に学ぶ和の作法	8	1,400	9	1,502	12.5	7.3

② 県立文化施設等での伝統芸能にかかわる公演の実施、発表機会の確保

主な事業	H24		H25		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
・人形浄瑠璃文楽 ・神奈川の地芝居フェスティバル ・かながわ民俗芸能大会 ・相模人形芝居大会 ・かながわの太鼓	5	3,863	5	3,707	0	△4

③ 能・狂言等鑑賞教室の開催 (12, 13にも掲載)

主な事業	H24		H25		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
・能・狂言教室 ・歌舞伎鑑賞教室	6	4,194	5	3,407	△16.7	△18.8

④ 文化芸術団体への支援や連携による発表機会の確保 (3, 10にも掲載)

主な内容と事業	H24		H25		増減(%)	
	補助数	助成数	補助数	助成数	補助数	助成数
文化芸術団体が行う、公演、展示、コンクール、ワークショップ、交流事業に対し補助金、助成金による支援を実施した。	7	21	6	19	△14.3	△9.6

⑤ 子どもを対象とした民俗芸能フェスティバルの開催 (12にも掲載)

主な内容と事業	H24		H25		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
かながわこども民俗芸能フェスティバル(れとろびーと) ※H24年度をもって終了	1	374	-	-	皆減	皆減

6 文化財保護の充実等

文化財の適切な保存活用を図るため、実態把握の調査や試掘調査などを行い基礎的データの収集とともに、文化財の保存・保護を図るため管理者や所有者が行う指定文化財の管理や修理等に要する経費の補助金等を交付しました。また、活用・保護の普及啓発のため、「文化財保護ポスター」を公募し最優秀作品をポスター化し関係施設等に配布しました。

平成25年度については、文化財調査数が396件で前年度(349件)より13.5%増加し、試掘構は52件で前年度(57件)より8.8%減少しました。

補助金や奨励金の交付については、補助金の交付件数が前年度より1件減少しまし

た。

「文化財保護ポスター」については、応募が 693 件で前年度（1,193 件）に比べて 41.9%減少し、ポスターの配布先については前年と同じ 818 箇所でした。

① 文化財の指定及び指定文化財に対する助成等の実施

主な事業	H24		H25		増減(%)	
	調査数	試掘構	調査数	試掘構	調査数	試掘構
文化財調査	349	57	396	52	13.5	△8.8

主な事業	H24		H25		増減(%)	
	件数		件数		件数	
国県指定文化財保存修理などの補助金交付	60		59		△1.7	

主な事業	H24		H25		増減(%)	
	応募数	配布先	応募数	配布先	応募数	配布先
文化財保護ポスターによる普及啓発	1,193	818	693	818	△41.9	0

② 県立博物館での文化財、伝統芸能等に関する資料の収集、保管、展示 (2)にも掲載)

施設名	主な内容と事業	H24		H25		増減(%)	
		実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
博物館 歴史	文化芸術に関する資料等の展示や特別展を実施した。	4	41,792	3	34,515	△25	△17.4
文庫 金沢	学習意欲や時代のニーズに合った分かりやすい展覧会、企画展を開催した。	6	37,751	6	32,910	0	△12.8

③ 県ホームページ等による文化財に関する情報の提供

<ホームページによる紹介>

- ・県ホームページで文化財を紹介

<講座等の開催>

主な事業	H24		H25		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
<ul style="list-style-type: none"> ・考古学スクールセミナー ・夏休み考古教室（体験考古学・まが玉作り） ・かながわの遺跡展 ・巡回展「かながわの遺跡展」 ・考古学ゼミナール ・考古学講座 	7	17,165	7	12,806	0	△25.4

(3) 芸術家等の育成等に関する支援等

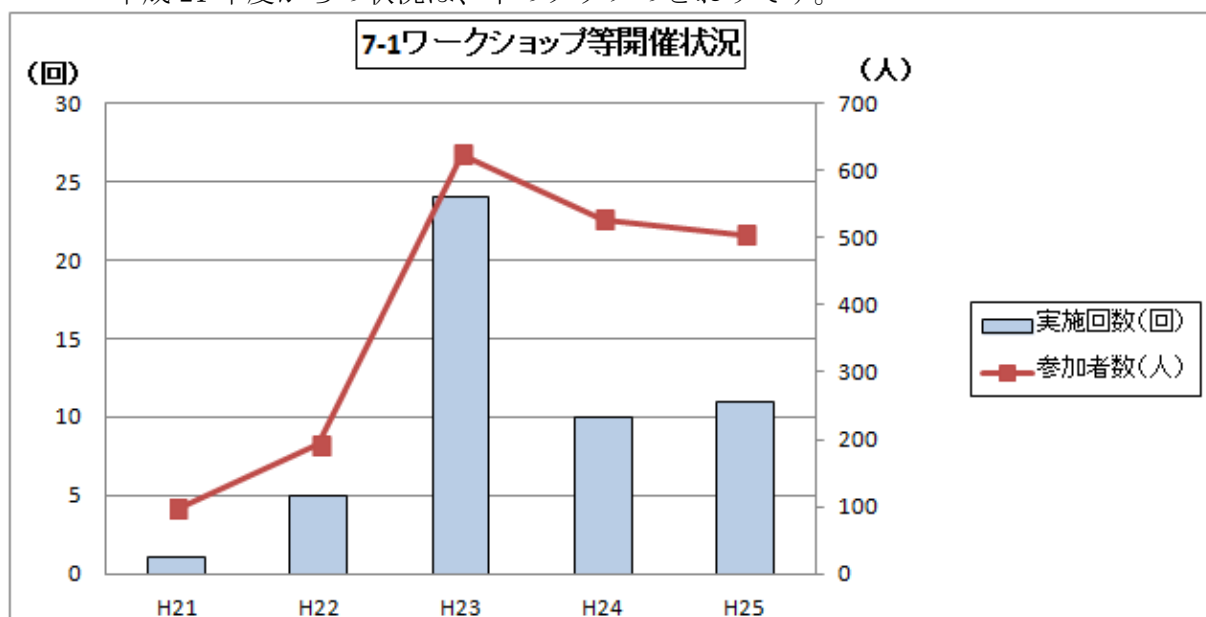
7 芸術家や文化芸術を支える活動を行う者の育成

将来の活躍が期待される芸術家等の発掘や育成を支援し、また、文化施設で催される様々な公演事業を支える舞台技術者等の育成に取り組みました。

平成 25 年度は、神奈川文化賞・未来賞等による顕彰を行いました。

舞台芸術関係者の育成に向けたワークショップの開催やインターンシップの受入などを合計 11 回実施し、あわせて 505 人の参加者数がありました。平成 24 年度と比較すると、実施回数(10 回)は 10%増加し、参加者数(527 人)は 4.2%減少しました。

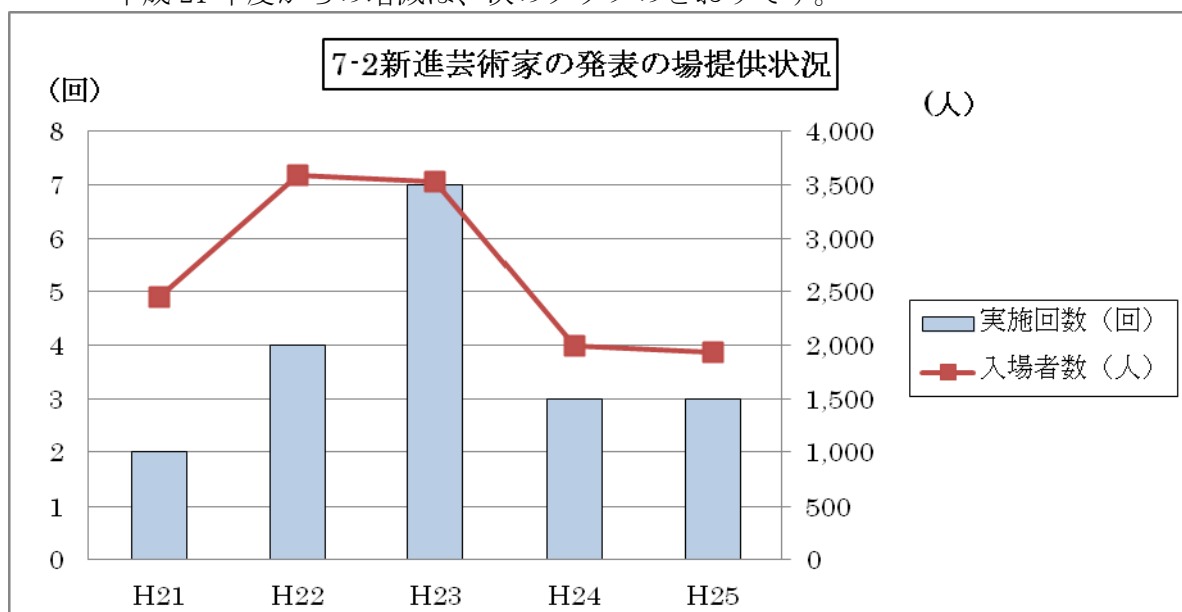
平成 21 年度からの状況は、下のグラフのとおりです。



※ 平成 24 年度の実施回数の減は、平成 23 年度に実施したストリートダンスフェスティバル SPECIAL ワークショップ等の影響によります。

また、新進芸術家に発表の場を提供するためのコンサートなどを合計 3 回実施し、あわせて 1,933 人の入場者数がありました。平成 24 年度と比較すると、実施回数(3 回)は同数で、参加者数(1,990 人)は 2.9%減少しました。

平成 21 年度からの増減は、次のグラフのとおりです。



※ 平成24年度の減は、平成23年度まで行われていた「多機能音楽活動推進事業の終了の影響によります。

① 神奈川県文化賞・未来賞等による顕彰の実施

神奈川県文化賞の若手を対象とした未来賞において、現代美術家・曾谷朝絵 氏、箱根寄木細工職人グループの雑木囃子 を顕彰

② 舞台技術者等の文化芸術を支える者の研修等による育成支援 (22)にも掲載

施設名	主な事業	H24		H25		増減(%)	
		実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
神奈川県 芸術劇場	舞台芸術の創造活動における公共劇場や舞台技術の役割を考える「KAAT 舞台技術ワークショップ」を実施した。 また、インターンシップの受入をした。	9	444	10	421	11.1	△5.2
青少年 センター	小・中・高等学校演劇部顧問や市民劇団等の指導者、学校で指導的立場にある生徒等を対象とした「演劇指導者ワークショップ」を実施した。	1	83	1	84	0	1.2

③ 新進芸術家の育成支援の検討 (8) (9) (18)にも掲載

主な事業	H24		H25		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
・フレッシュコンサートの開催 ・かながわ音楽コンクール	3	1,990	3	1,933	0	△2.9

8 創作のための環境の整備

県立文化施設などを活用し、芸術家等が創作・練習・稽古等に利用しやすい仕組みづくりを行うなど、創作のための環境の整備を図りました。

平成 25 年度は、主に発表会やコンクールに利用されている音楽堂の利用が 134,008 人で、主に練習や発表会に利用されているかながわアートホールの利用が 40,440 人でした。平成 24 年度と比較すると、音楽堂の利用人数 (101,870 人) は 31.5%増加し、アートホールの利用者数 (39,815 人) は 1.6%増加しました。

新進芸術家の創作環境支援に向けて、演奏などの発表機会を提供し、実施数は 3 回で、平成 24 年と比較すると同数で、公演の入場者数は 1,933 人で 2.9%減少しています。

① 県立文化施設の練習・稽古等での活用 (3) (21)にも掲載

<音楽堂>

主な内容と事業	H24	H25	増減(%)
	利用人数	利用人数	利用団体数
音楽活動の場の充実を図るため、オーケストラや合唱、吹奏楽などの発表会やコンクールを実施した。	101,870	134,008	31.5

<かながわアートホール>

主な内容と事業	H24	H25	増減(%)
	利用人数	利用人数	利用人数
個人の音楽活動の練習や発表の場として、オーケストラ、室内楽、器楽、舞踊、邦楽、演劇、講演などの利用をした。	39,815	40,440	1.6

② 新進芸術家の創作環境支援の検討 (7 9 18にも掲載)

主な事業	H24		H25		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
・フレッシュコンサートの開催 ・かながわ音楽コンクール	3	1,990	3	1,933	0	2.9

9 創造的活動の成果を発表する機会の確保

芸術家の創造的活動の成果を発表するための展覧会や公演事業などを開催するとともに、県立文化施設の主催事業などで将来の活躍が期待される芸術家に出演してもらいました。また、市町村と連携して、アマチュア・ミュージシャンなどの活動を支援しました。

平成 25 年度の県美術展は、応募数 852 点で入場者数は 8,028 人でした。平成 24 年度と比較すると、応募数 (902 点) は 5.5%減少し、入場者数 (7,482 人) は 7.3%増加しました。

平成 25 年度の将来の活躍が期待される芸術家に対する活動の場の提供としては、新進芸術家を起用した演奏会や発表機会の充実など合計 3 回実施し、あわせて 1,933 名の鑑賞者がありました。平成 24 年度と比較すると、公演数 (3 回) は同数で、鑑賞者数 (1,990 人) は 2.9%減少しました。

アマチュア・ミュージシャンなどの発表機会の支援については、平成 25 年度は、参加数は 8 組、入場者数は 800 人で、平成 24 年度 (1,600 人) と比較すると、50%減少しました。

① 県美術展の開催 (3にも掲載)

内容	H24			H25			増減(%)		
	応募数	入選・入賞	入場者	応募数	入選・入賞	入場者	応募数	入選・入賞	入場者
県内の作家に作品発表の機会を提供し、その創作意欲を助長するため、第1期展・第2期展(県民ホール)、厚木巡回展を実施した。	902	415	7,482	852	408	8,028	△5.5	△1.7	7.3

② 文化芸術団体との連携による新進芸術家を起用した演奏会等の開催 (7 8 18にも掲載)

主な事業	H24		H25		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
・フレッシュコンサート ・かながわ音楽コンクール	3	1,990	3	1,933	0	△2.9

③ 県立文化施設主催事業における新進芸術家の積極的登用

④ 新進芸術家の発表機会支援の検討 (18にも掲載)

主な事業	H24		H25		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
参加型創造活動推進事業 (ミュージカル、ワークショップの実施) H24 基礎編 2 箇所、応用編 1 箇所 H25 基礎編 3 箇所、応用編 1 箇所	7	85	9	125	28.6	47.1

⑤ ストリート・ミュージシャン等アマチュア・ミュージシャンなどの発表機会の支援 (3にも掲載)

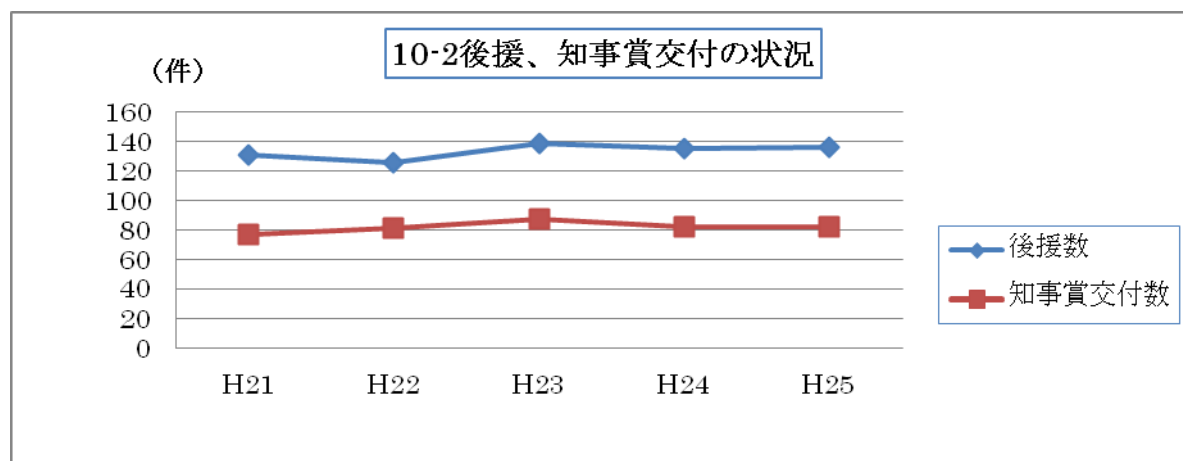
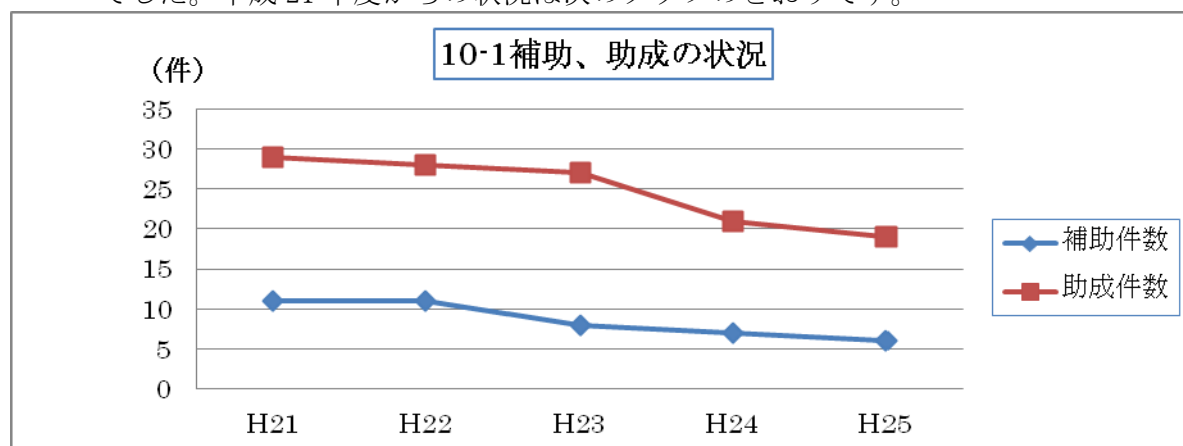
主な事業	H24		H25		増減(%)	
	参加数	入場者数	参加数	入場者数	参加数	入場者数
カナガワミュージックサミット (H25 は荒天のため、5 組終了時点で中止)	7組	1,600	8組	800	14.3	△50

(4) 文化芸術団体の育成等

10 文化芸術団体の育成・支援、連携・協働の推進

県民が文化芸術活動（創作・練習・稽古・発表等）を行う際に利用できる文化施設を運営するとともに、県民が参加できる展覧会やコンクールなどの開催により、県民自らが行う文化芸術活動を支援しました。

補助金や助成金の交付、共催等の支援については、補助金の交付が1件減少し、助成金の交付が前年度より2件減少し、後援数は1件増加し、知事賞交付数は同数でした。平成21年度からの状況は次のグラフのとおりです。



文化芸術団体相互の連携については、野外コンサート「カナガワミュージックサミット」を開催し、平成25年度の参加数は8組で入場者数は800人でした。

① 文化芸術団体への助成等による支援 (3 5にも掲載)

主な内容と事業	H24		H25		増減(%)	
	補助数	助成数	補助数	助成数	補助数	助成数
文化芸術団体が行う、公演、展示、コンクール、ワークショップ、交流事業に対し補助金、助成金による支援を実施した。	7	21	6	19	△14.3	△9.5

② 文化芸術団体の活動に対する後援

主な内容と事業	H24		H25		増減(%)	
	後援数	知事賞 交付数	後援数	知事賞 交付数	後援数	知事賞 交付数
地域文化への振興の寄与、創造性などのある事業、コンクールなどに対し、後援や知事賞の交付を行った。	135	82	136	82	0.7	0

③ 県実施事業等における文化芸術団体との連携・協働の推進 (13にも掲載)

主な内容と事業	H24	H25	増減(%)
	実施校数	実施校数	実施校数
郷土の伝統芸能に関する教育の充実について、先導的な研究を行う拠点校について支援した。	2	7	250

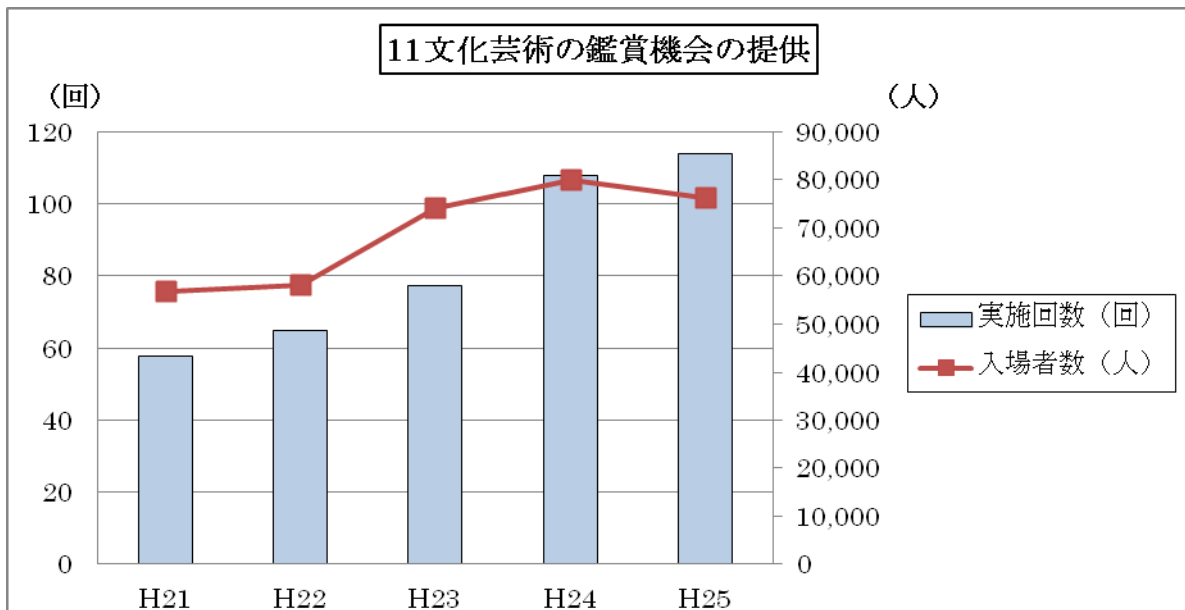
④ 文化芸術団体相互の連携の促進 (3 9にも掲載)

主な内容と事業	H24		H25		増減(%)	
	参加数	入場者数	参加数	入場者数	参加数	入場者数
複数市の代表を招待した野外コンサート「カナガワミュージックサミット」を開催	7	1,600	8	800	14.3	△50

(5) 子どもの文化芸術活動の充実

11 文化芸術の鑑賞機会の提供

県立文化施設等で子どもたちが様々な文化芸術を鑑賞する機会を提供しました。平成 25 年度の子ども達を対象とした文化芸術の鑑賞機会の提供は、合計で 114 回実施し、あわせて 76,226 人が鑑賞しました。平成 24 年度と比較すると、実施回数(108 回)は 5.6%増加し、入場者数(79,882 人)は 4.6%減少しました。平成 21 年度からの状況は、下のグラフのとおりです。



① 県立文化施設での子どもたちを対象とした鑑賞事業の実施

施設名	主な事業	H24		H25		増減(%)	
		実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
県民ホール 本館	・パイプオルガン夏休み子どもスペシャル ・オープンシアター ・神奈川フィル・ポップス・コンサート*1 ・私学中高生のための音楽会	5	5,659	7	4,584	40	△19.0
芸術劇場 神奈川	・KAAT キッズプログラム*2 ・ファミリーミュージカル	35	11,189	34	6,296	△2.8	△43.7
音楽堂	・マエストロ聖響の夏休みオーケストラ！ ・音楽堂子ども版建築見学会	2	689	2	1,027	0	49.0

*1 平成24年2回開催、入場者数2,800人 平成25年はなし

*2 平成24年プログラムの充実（パフォーマンス、ダンス）、大型公演の実施（ミュージカル、オペラ）

② 文化芸術団体との連携による子どもたちを対象とした音楽体験事業等の実施 (13にも掲載)

主な内容と事業	H24		H25		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
(財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団による小学校、特別支援学校での演奏会を実施した。	58	55,500	62	57,840	6.9	4.2

③ 県立神奈川近代文学館での児童文学を題材とした展覧会等の実施

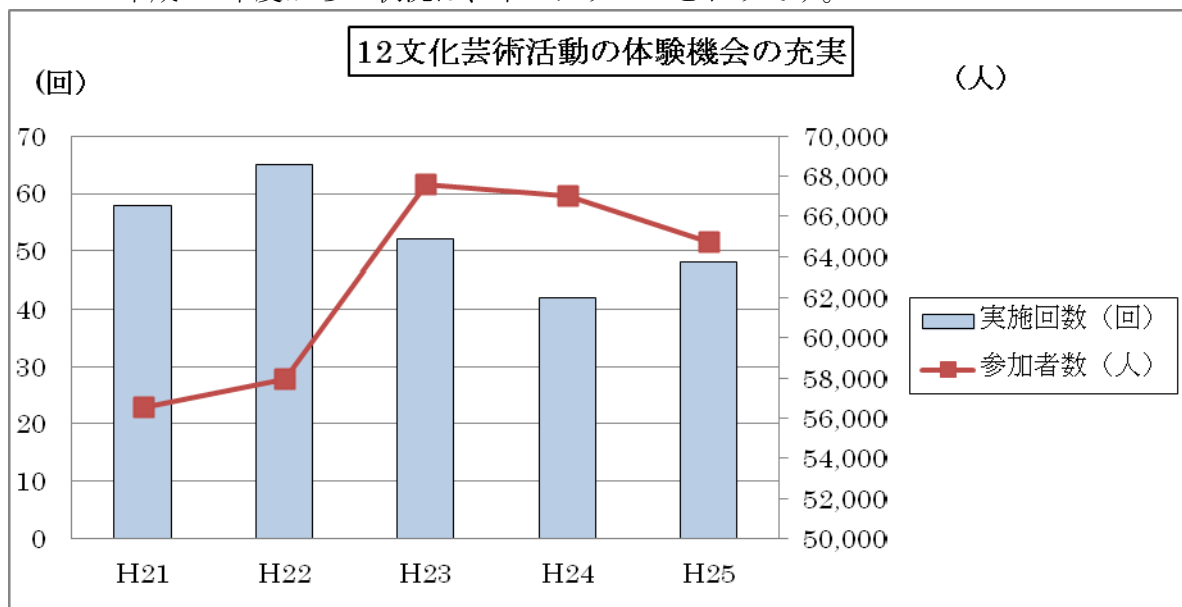
主な内容と事業	H24		H25		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
子供向けの企画として紙芝居や子ども映画会などを実施した。	8	6,845	9	6,479	12.5	△5.3

12 文化芸術活動の体験機会の充実

子ども達が自ら行う文化芸術活動を支援するとともに、文化芸術を体験する機会の充実を図りました。

平成 25 年度は、伝統芸能ワークショップや体験事業、読書に親しむ事業や民俗芸能フェスティバルなど合計 48 回実施し、あわせて 64,723 人が参加しました。平成 24 年度と比較すると、実施数（42 回）は 14.3%増加し、参加者数（67,015 人）は 3.4%減少しました。

平成 21 年度からの状況は、下のグラフのとおりです。



※ 平成23年度からの参加者数の増は、「KAAT キッズプログラム」の実施の影響による。

① 文化芸術団体との連携・協働による子どもたちの文化芸術活動の推進 (5) (13)にも掲載

主な事業	H24		H25		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
・能・狂言教室 ・歌舞伎鑑賞教室	6	4,194	5	3,407	△16.7	△18.8

② 県立青少年センター、藤野芸術の家での文化芸術を体験する機会の提供

施設名	主な内容と事業	H24		H25		増減(%)	
		実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
県立青少年センター	古典芸能、演劇、ダンスの分野で優れた劇団、演目等を選定し、青少年・一般県民に提供した。	12	12,731	20	10,812	66.7	△15.1
芸術の家 藤野	自然及び人とのふれあい並びに芸術体験を通し、豊かな感性と創造性を育むことができるよう陶芸体験やチェロコンサート、雅楽公演などを実施した。	11	47,879	10	48,328	△9.1	0.94

③ 伝統芸能ワークショップの実施 (5にも掲載)

主な事業	H24		H25		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
・相模人形芝居学校交流ワークショップ ・日本舞踊に学ぶ和の作法	8	1,400	9	1,502	12.5	7.3

④ 県立神奈川近代文学館での子どもたちが読書に親しむための事業の実施

主な事業	H24		H25		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
子ども向けの絵本読み聞かせ会や紙芝居を実施した。*	4	437	3	135	△25	△69.1

* H24年度の実施数、入場者数の増は、寺村輝夫「ぼくは王さま」展開連のワークショップ実施の影響による。

⑤ 子どもを対象とした民俗芸能フェスティバルの開催 (5にも掲載)

主な事業	H24		H25		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
かながわこども民俗芸能フェスティバル(れとろびーと) ※平成24年度をもって終了	1	374	-	-	皆減	皆減

(6) 学校教育における文化芸術活動の充実

13 文化芸術に関する体験学習等の充実

小中学校などの学校教育における文化芸術に関する体験学習などの充実を図るとともに、芸術家等や文化芸術団体が学校教育の中で行う文化芸術活動に必要な協力や支援を実施しました。

① 文化芸術団体との連携による音楽体験事業等の実施 (11にも掲載)

主な内容と事業	H24		H25		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
(財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団による小学校、特別支援学校での演奏会を実施した。	58	55,500	62	57,840	6.9	4.2

② 能・狂言等鑑賞教室の開催 (5 12にも掲載)

主な事業	H24		H25		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
・能・狂言教室 ・歌舞伎鑑賞教室	6	4,194	5	3,407	△16.7	△18.8

③ 本物の舞台芸術体験事業・学校への芸術家等派遣事業(文化庁事業)の県内での展開

④ 「芸術表現を通じたコミュニケーション教育の推進」(文部科学省事業)

主な内容と事業	H24		H25		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
「コミュニケーション教育の円滑な実施のための調査研究」 ・学校とNPO法人・劇場等との効果的な連携手法や学習プログラムの作成・実施・効果分析等の調査研究を行った。 ※平成24年度をもって終了	8	132	-	-	皆減	皆減

⑤ 伝統文化こども教室事業(文化庁事業)の県内での展開

—

⑥ 学校文化部活動の充実・支援の実施

主な内容と事業	H24	H25	増減(%)
	参加者数	参加者数	参加者数
吹奏楽、美術・工芸、文芸など8分野で研修会などを実施した。※平成24年度をもって終了	2,008	-	皆減

⑦ 県高等学校総合文化祭の開催(15にも掲載)

主な内容と事業	H24		H25		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
県内各地で合唱大会、美術展など分野ごとに実施した。	31	36,843	32	35,548	3.2	△3.5

⑧ 県立高校における文化芸術にかかわる科目等の充実及び文化芸術の発展に寄与する人材の育成

⑨ 芸術家等や文化芸術団体と連携した教育の実施(10にも掲載)

主な内容と事業	H24	H25	増減(%)
	実施校数	実施校数	実施校数
郷土の伝統芸能に関する教育の充実について、先導的な研究を行う拠点校について支援した。	2	7	250.0
芸術や演劇における表現力、コミュニケーション力の向上を目指した教育活動について、先導的な研究を行う拠点校について支援した。※事業見直しにより、H24年度をもって終了	3	-	皆減

⑩ 伝統音楽に関する指導者ワークショップの実施

—

⑪ 学校と文化施設との連携の推進

主な事業	H24		H25		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
・音楽堂 ふれあいアウトリーチ ・横浜市芸術文化教育プラットフォーム	10	805	9	908	△10	12.8
・高校、図書館等での文学パネル展の開催	11	42,017	13	30,288	18.2	△27.9

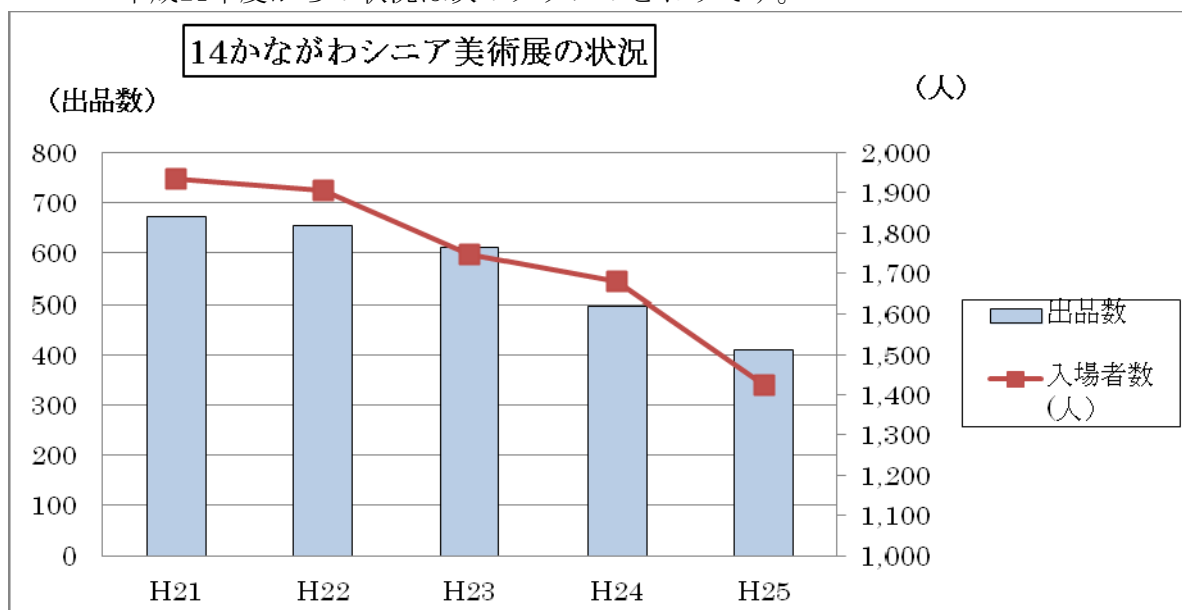
(7) 高齢者、障害者等の文化芸術活動の充実

14 高齢者、障害者等の文化芸術活動の充実

高齢者、障害者、子育て中の保護者などが、文化芸術に親しみ自ら文化芸術活動を楽しめるよう、文化芸術団体と協力しながら、文化芸術の鑑賞機会の提供や自らが文化芸術活動を楽しむための取組みを進めました。

平成25年度は、かながわシニア美術展を開催し、410点の出品があり、入場者は1,423人でした。平成24年度と比較すると、出品数(497点)は17.5%減少し、入場者数(1,679人)は15.2%減少しました。

平成21年度からの状況は次のグラフのとおりです。



※ 出品数の減は、出品料の値上げの影響等による。

① 美術展など高齢者を対象とした文化芸術事業の実施

主な内容と事業	H24		H25		増減(%)	
	出品数	入場者数	出品数	入場者数	出品数	入場者数
かながわシニア美術展	497	1,679	410	1,423	△17.5	△15.2

② 県立施設における文化芸術活動の場の提供などによる障害者の自主的な活動の支援

ライトセンターで14の文科系クラブ活動を実施しました。

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

(1) 文化芸術に関する交流の推進

15 地域間交流の推進

地域などの地理的・歴史的な背景の下に形成された文化芸術に関する地域間交流を進めるため、国民文化祭への参加や他県との交流事業などを実施しました。

① 他県との文化芸術を介した交流の推進

主な内容と事業	H24	H25	増減(%)
	交流数	交流数	交流数
文学展の制作・提供、文学研究への協力を行った。 ・石川県 石川近代文学館 中野重治企画展への協力 ・東京都 東京芸術大学 夏目漱石関係資料の貸し出し ・静岡県 静岡県立美術館 夏目漱石関係資料の貸し出し ・富山県 高志の国文学館 文学館建設に向けて事業協力	3	4	33.3

② 国民文化祭への県内文化芸術団体の参加促進

主な事業	H24		H25		増減(%)	
	参加団体数	参加者数	参加団体数	参加者数	参加団体数	参加者数
第28回国民文化祭へ参加	5	20	32	733	540	3,565

③ 県高等学校総合文化祭の開催 (13にも掲載)

主な事業	H24		H25		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
県内各地で合唱大会、美術展など分野ごとに実施した。	31	36,843	32	35,548	3.2	△3.5

16 国際交流の推進

文化芸術を介した国際交流事業の実施や県立文化施設での海外の作品の鑑賞機会の提供などにより、国際交流や海外の文化芸術に対する理解を深める取組みを進めました。

① 国際児童画展の開催 *隔年実施 (H24に募集、審査した作品についてH25に表彰式・展覧会を開催)

内容	H24			H25			増減(%)		
	応募数	外国応募	入場者	応募数	外国応募	入場者	応募数	外国応募	入場者
児童の国際理解と国際交流推進のため、県内及び世界各国から児童画を募集し展覧会を開催した。	24,008	21,725	-	-	-	3,485	-	-	-

② 海外の友好交流都市等との文化芸術を介した交流事業の実施

③ 海外の最高水準の舞台芸術作品の県立文化施設での公演や展覧会の実施

施設名	主な事業	H24		H25		増減(%)	
		実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
県民ホール 本館	質の高い文化芸術の鑑賞機会を充実するため、海外オペラ、バレエ公演などを実施した。*	4	7,591	3	2,384	△25	△68.6
芸術劇場 神奈川	H24 ダンスフェスティバル H25 インターナショナルショーケースダンスプロジェクト	1	1,071	6	1,621	500	51.4

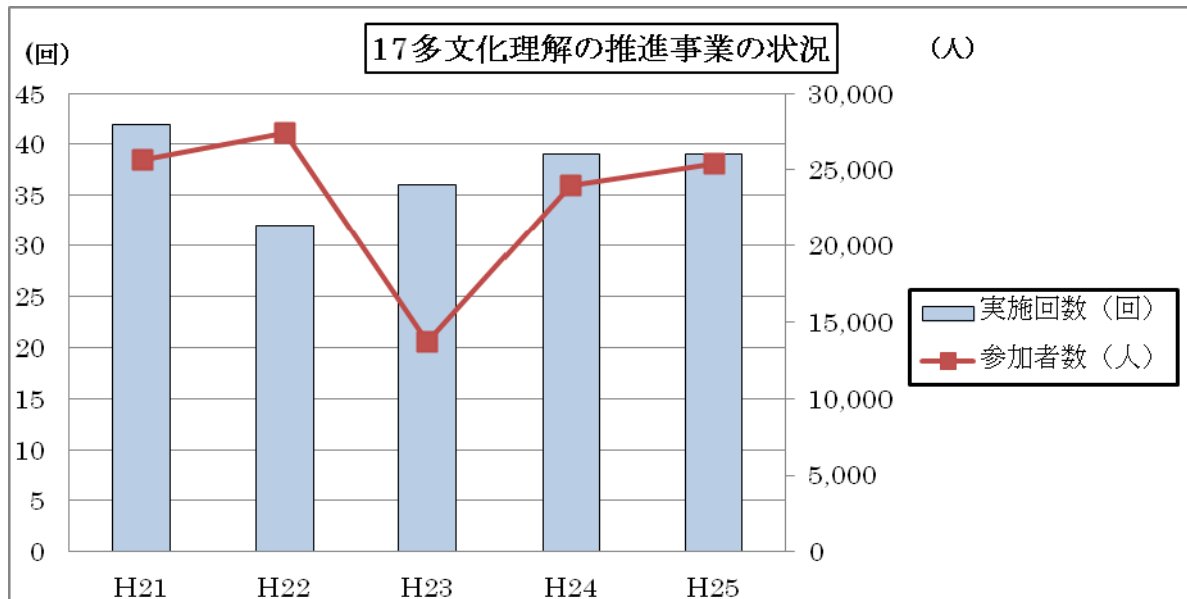
* 平成24年の参加者数の増は、オペラ「フィガロの結婚」（ウィーン国立劇場）公演実施の影響による。

17 多文化理解の推進

各国の文化を紹介し、外国籍県民との交流を図る催しや講座を実施するなど、多文化理解を進めました。

平成25年度の多文化理解の推進のための事業は、合計で39回実施し、あわせて25,372人が参加しました。平成24年度と比較すると、実施回数（39回）は同数で、参加者数（23,950人）は5.9%増加しました。

平成21年度からの状況は、下のグラフのとおりです。



① 「あーすフェスタかながわ」など多文化理解や交流を推進するための事業の実施

主な内容と事業	H24		H25		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
多文化共生をテーマとした「あーすフェスタかながわ」を開催し、シンポジウム、民俗芸能ステージ、ワークショップ、世界屋台村などを展開した。	1	20,000	1	20,000	0	0

② 地球市民かながわプラザ等での多文化理解を推進するための講座等の実施

主な内容と事業	H24		H25		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
在住外国人等を講師として、写真、クイズ、遊び、ダンスなどを通じて、様々な国の文化を学ぶワークショップ「世界の教室」を実施した。	14	489	13	876	△7.1	79.1
小学校に出向き、写真パネルや民族衣装、楽器を使ったワークショップなどの「出前講座」を実施した。	3	282	4	346	33.3	22.7

③ 湘南国際村における国際人材育成等に関する事業の実施

主な内容と事業	H24		H25		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
学部生・院生を対象にインターカレッジ方式で日本とアジアの政治・経済・文化を主題にした若手国際人材セミナー「湘南国際村インカレ国際セミナー」を実施。	1	77	1	85	0	10.4
県内高校の国際教育の推進を支援するため、国際人材育成プログラムを提供し高校に講師を派遣した。	20	3,102	20	4,065	0	31.0

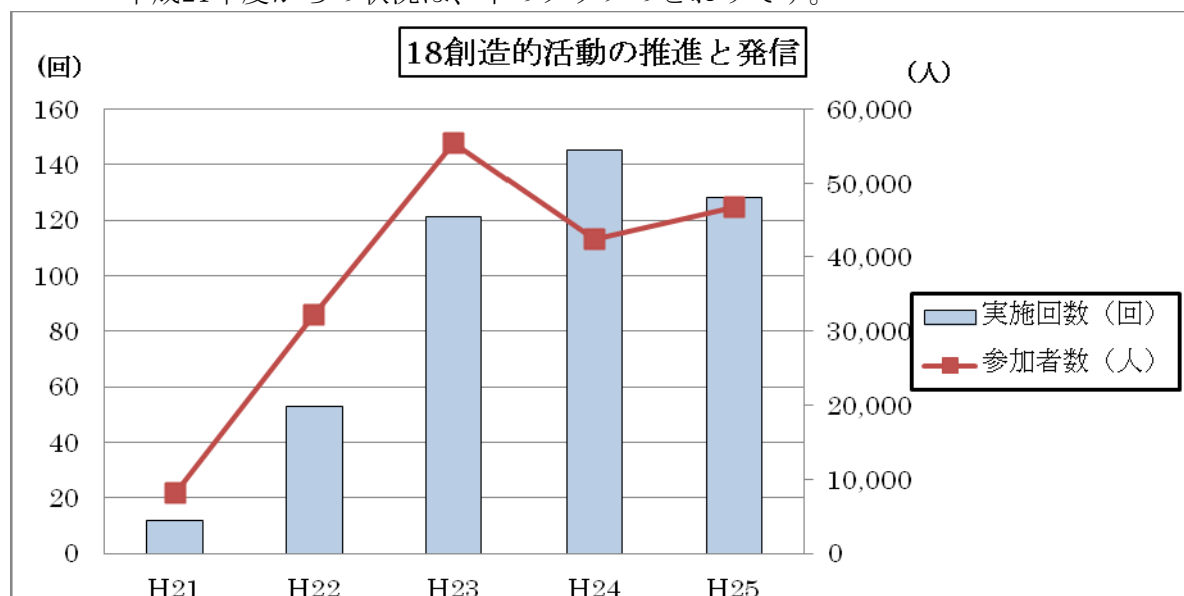
(2) 創造的活動等の推進

18 創造的活動の推進と発信

県立文化施設の活用や文化芸術団体との連携により、新しい文化芸術の創造的活動を推進するとともに、これらを国内外に発信する取組みを実施しました。

平成25年度は、舞台芸術作品の創造・発信や新進芸術家等への支援として演奏の場の提供など合計で128回実施し、入場者はあわせて42,621人でした。平成24年度と比較すると、実施回数は(145回)は13.3%減少し、入場者数(42,440人)は0.4%増加しました。

平成21年度からの状況は、下のグラフのとおりです。



① 県立文化施設における新たな舞台芸術作品等の創造・発信

	主な事業と内容	H24		H25		増減(%)	
		実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
県民ホール 本館	他文化施設との共同制作によるオペラ(文化庁補助事業)やガラコンサートなど、大規模公演を実施した。	3	5,052	4	7,169	33.3	41.9
芸術劇場 神奈川	有名演出家による演劇やミュージカル、日本民話「耳なし芳一」をテーマとした演劇等、多彩なラインナップで公演を実施した。	118	31,107	104	27,947	△11.9	△10.2
音楽堂	県内高校生がプロオーケストラと共演した「メサイア」や狂言・箏曲・日本舞踊の各分野を独自の演出で構成した公演などを実施した。	14	4,206	8	5,447	△42.8	29.5

② 文化芸術団体・芸術系大学等との連携による先駆的で発信性の高い文化芸術の創造 (9にも掲載)

主な事業	H24		H25		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
参加型創造活動推進事業 (ミュージカル、ワークショップの実施) H24 基礎編 2箇所、応用編 1箇所 H25 基礎編 3箇所、応用編 1箇所	7	85	9	125	28.6	47.0

③ 新進芸術家等への支援の検討 (7 8にも掲載)

主な事業	H24		H25		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
・フレッシュコンサートの開催 ・かながわ音楽コンクール	3	1,990	3	1,933	0	△2.9

(3) 文化資源の活用

19 文化資源を活用した地域の活性化

地域の活性化等に活用可能な文化資源について、市町村、文化芸術団体、芸術家、企業などとの連携により有効活用に努めるとともに、その魅力を広くPRするための情報発信に取り組みました。

① 文化資源活用地域活性化(マグカル)事業の実施

文化芸術の持つ「人を引きつける力」を活用してまちの賑わいを創出する「マグネット・カルチャー」いわゆる「マグカル」事業に取り組み、県の文化施設、観光スポット等の資源を活用することにより、文化芸術の魅力を活かしたまちの賑わいを創出する事業を実施した。

平成25年度は、

- 県や横浜市の芸術文化関係団体等が個々に提供している文化施設や芸術・文化イベント等の情報を一元的に発信する「マグカル・ドット・ネット」(ホームペ

ージとフェイスブック)における発信内容を充実し、リアルタイムかつ効果的に情報を発信し続けることで集客を図り、賑わいの創出に寄与した。

- 横浜三塔の日に合わせ、地域と連携したイベントを実施した。
- 青少年センターで、若者が演劇、ダンス、音楽パフォーマンスなど、自由な発想で自らの才能を発揮できる場を提供し、新たな人材の発掘育成と地域の新たな魅力を作り出す「マグカル劇場」を開始した。
- 神奈川ゆかりの文化遺産を新たな発想で活用する「リ・古典プロジェクト」を開始した。

② 神奈川芸術劇場における地域との連携の推進

日本はもとより欧州で高い評価を受けているライブバンド「渋さ知らズ」による大規模なJAZZライブ公演のプレイベント、「『渋さ知らズオーケストラ』まちなか練り歩き&ミニライブ」では、山下公園周辺をパフォーマンスをしながら、バンドメンバーとともに一般公募した参加者が練り歩き、氷川丸や象の鼻パークでミニライブを行った。

また、本県在住で女流義太夫の人間国宝である竹本駒之助によるレクチャーや公演を開催したほか、彫刻家イサム・ノグチを舞台化した「iSAMU」では、横浜美術館とタイアップした講演を実施した。

③ 相模湾沿岸をはじめとした地域に残る近代建造物と邸園を保全・活用した地域づくりの推進

- ・ 湘南各地のNPO等の協働により、各地に残る邸園等を活用した様々な文化的イベントを地域一帯で同時期に行い、多彩な交流を紡ぎ出す「湘南邸園文化祭」を開催した。
- ・ 民間による邸園や歴史的建造物の保全活用の取組みの支援を目指し、所有者への助言や活用を核とした地域づくりを推進する専門家「邸園（歴史的建造物）保全活用推進員」を養成した。

④ 箱根ジオパーク構想の推進

- ・ 箱根火山及びその周辺地域の地域資源を始め、歴史的、文化的、生態学的資源を維持保全し、その価値を継続して高め、教育・観光の新たな切り口として地域活性化を図るため、教育に資する活動やジオツーリズムなどを実施した。

⑤ 鎌倉の世界文化遺産登録の推進

- ・ 平成25年4月30日のイコモスによる「不記載」勧告を受けて、再推薦・登録に向け、イコモス勧告の詳細な分析を行った。評価された点、されなかった点の分析や、専門家との意見交換、他国の不記載勧告の分析等を行うことにより、再推薦に向けた今後の方向性について検討を前進させることができた。

⑥ 地域に伝承されてきた文化等の発掘・発信・体験の促進

○ASHIGARAアートフェスティバル事業

- ・ 厚生労働省の「緊急雇用創出事業臨時特例基金」を活用して「ASHIGARAアートフェスティバル2013」のメインフェスティバル（平成25年11月3日～11月24日）を開催した。

○ASHIGARA Wood-ART事業

- ・ 第3回神奈川チェーンソーアート競技大会（平成25年11月2日）を開催するとともに、普及啓発事業としてチェーンソーアートデモンストレーション、展示を行った。

⑦ ミュージアム・クイズラリー、ミュージアム・ツアー

- ・ 夏休み期間に、歴史博物館が主催し、横浜みなと博物館、神奈川近代文学館など近隣博物館等と共同でミュージアム・クイズラリーやミュージアム・ツアーを開催した。

⑧ 県立文化施設の地域のにぎわい創出等への活用

	事業内容	H24	H25	増減(%)
		参加者数	参加者数	参加者数
神奈川 芸術劇場	国際舞台芸術ミーティング in 横浜<TPAM> ○公演 ○展示 ○セミナー ○コミュニケーション・プログラム ○関連企画 ○関連事業	24,107	2,535	△25.9
		神奈川芸術劇場 事業のみ 3,422		

⑨ ホームページ等による、県内の伝統的な行事や祭りの開催など文化資源に関する地域情報の発信 (4) (24)にも掲載)

事業内容	H24	H25	増減(%)
	アクセス数	アクセス数	アクセス数
イベントなどの県内観光情報ホームページの運営	8,730,000	10,010,000	△14.7
イベントなどの県内観光情報をメールマガジンで配信	25,800	38,744	50.2

⑩ 地域の製品の普及、伝統的工芸品の製品フェア開催など文化資源の普及、育成

事業内容	H24	H25	増減(%)
	参加者数	参加者数	参加者数
伝統的工芸品の後継者育成事業への助成を行った。	203	208	2.5

⑪ フィルムコミッション活動支援事業の推進

—

(4) 景観の形成

20 良好な景観の形成

県内各地の自然景観、歴史的景観、都市景観などの良好な景観の形成に当たって、文化的諸条件などに配慮し、魅力ある景観づくりに取り組みました。

① 「神奈川景観づくり基本方針」に基づく魅力ある景観づくりの推進

- ・ 市町村（指定都市、中核市を除く）の景観施策への取組み支援のため、景観に関する知識を有する専門家を派遣した。（鎌倉市、小田原市、逗子市など16市町の景観ワークショップ、景観講演会など26事業へ派遣）

② 文化財保護法に基づく重要文化的景観の選定に係る検討

—

③ 歴史まちづくり法等に基づく関連文化財所在市町村への助言

—

3 文化芸術の振興を図るための環境整備

(1) 学校施設、公共的施設の活用等

21 公共的施設等の活用

文化芸術活動の場の充実に関する県民ニーズに応えるため、既存の文化施設を利用しやすくするなどのサービスの改善を図るとともに、地域の身近な拠点施設の活用等に取り組みました。

① 学校施設、公共的施設の文化芸術活動の練習、稽古、発表の場としての活用 (3) (8)にも掲載) <音楽堂>

主な内容と事業	H24	H25	増減(%)
	利用人数	利用人数	利用人数
音楽活動の場の充実を図るため、オーケストラや合唱、吹奏楽などの発表会やコンクールを実施した。	101,870	134,008	31.5

<かながわアートホール>

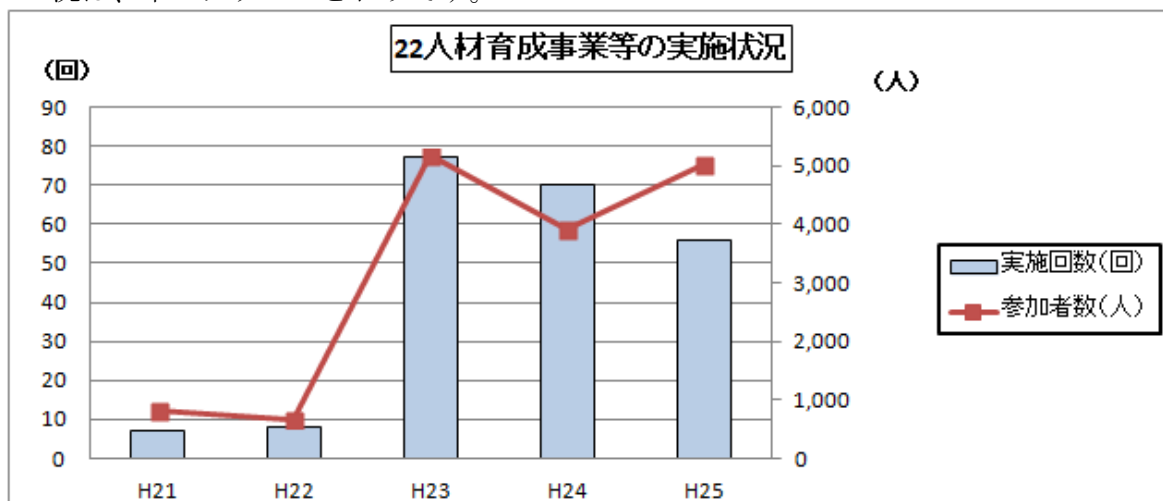
主な内容と事業	H24	H25	増減(%)
	利用人数	利用人数	利用人数
個人の音楽活動の練習や発表の場として、オーケストラ、室内楽、器楽、舞踊、邦楽、演劇、講演などの利用をした。	39,815	40,440	1.6

(2) 県立文化施設の充実

22 県立文化施設の機能の充実

県民の文化芸術活動に対するニーズが多様化・高度化する中、専門的な機能を有した文化施設が求められています。こうしたニーズに対応できるよう、県立文化施設の充実を図りました。

平成25年度については、芸術家等の人材育成やワークショップ事業を合計56回実施し、あわせて5,036人の参加がありました。平成24年度と比較すると、実施回数(70回)は20%減少し、参加者数(3,930人)は28.1%増加しました。平成21年度からの状況は、下のグラフのとおりです。



※ 平成23年度からの増は、神奈川芸術劇場 (KAAT) での事業開始の影響によります。

① 文化施設の特性に応じた芸術家等の人材育成、教育プログラム、アウトリーチ等の実施

施設名	主な内容と事業	H24		H25		増減(%)	
		実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
芸術劇場 神奈川県	舞台芸術の創造活動における公共劇場や舞台技術の役割を考える「KAAT 舞台技術ワークショップ」や「舞台芸術講座」などを実施した。	15	583	12	574	△20.0	△1.5
音楽堂	県立養護学校の子どもたちにプロによる生の音楽の魅力と楽しさを体験してもらう「音楽堂 ふれあいアウトリーチ」や小・中学生を対象とした「ワークショップ」などを実施した。	13	1,645	13	1,956	0	18.9

② 文化施設における参加体験型（ワークショップ）事業の実施（7にも掲載）

施設名	主な内容と事業	H24		H25		増減(%)	
		実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
県民ホール 本館	絵本作家や美術作家による工作のワークショップを開催した。	1	21	2	53	200	152.4
芸術劇場 神奈川県	舞台芸術の創造活動における公共劇場や舞台技術の役割を考える「KAAT 舞台技術ワークショップ」などを実施した。	32	1,033	21	1,834	△34.3	77.5
音楽堂	小・中学生を対象とした「指揮者との交流ワークショップ」などを実施した。	8	565	7	535	△12.5	△5.3
センター 青少年	小・中・高等学校演劇部顧問や市民劇団等の指導者、学校で指導的立場にある生徒等を対象とした「演劇指導者ワークショップ」を実施した。	1	83	1	84	0	1.2

③ 文化施設の整備による施設機能の向上

- ・ 県民ホール(本館)の改修工事の実施

23 運営方法の点検等

県立文化施設の機能を最大限に発揮させるため、効果的・効率的な事業の実施や施設運営について検証を行いました。

① 施設利用者を対象としたアンケート調査の実施

※ 数値の端数処理のため、回答合計が100%ではない場合があります。

< 県民ホール本館 > 「平成25年度神奈川県立県民ホール（本館）利用者満足度調査」概要

○ 実施時期	平成25年10月1日～10月31日				
○ 実施方法	調査票のちらしへのはさみ込み・館内配置(主催事業・共催事業)				
○ 有効回収数	264件				
○ 結果概要					
・ 催しの内容	良い89%	普通7%	良くない0%	無回答4%	
・ 催しを選んだ理由	演目26%	出演者30%	会場21%	料金6%	その他16%
・ 施設総合評価	良い58%	普通40%	悪い2%	無回答0%	

＜神奈川芸術劇場＞「平成25年度神奈川県立県民ホール（芸術劇場）利用者満足度調査」概要

○ 実施時期	平成25年12月1日～12月31日			
○ 実施方法	調査票のちらしへのはさみ込み・館内配置(主催事業・提携事業)			
○ 有効回収数	168件			
○ 結果概要				
・ 催しの内容	良い79%	普通10%	良くない1%	無回答11%
・ 催しを選んだ理由	出演者58%	企画4%	会場19%	料金3% その他16%
・ 施設総合評価	良い46%	普通28%	悪い4%	無回答22%

＜音楽堂＞「平成25年度神奈川県立音楽堂利用者満足度調査」概要

○ 実施時期	平成25年12月1日～12月31日			
○ 実施方法	調査票のちらしへのはさみ込み・館内配置(主催事業・共催事業)			
○ 有効回収数	159件			
○ 結果概要				
・ 催しの内容	良い92%	普通2%	良くない2%	無回答4%
・ 催しを選んだ理由	曲目19%	会場22%	料金20%	出演者19% その他20%
・ 施設総合評価	良い44%	普通30%	悪い1%	無回答25%

＜かながわアートホール＞「平成25年度神奈川県立かながわアートホール利用者満足度調査」概要

○ 実施時期	平成25年12月1日～12月31日			
○ 実施方法	調査票のちらしへのはさみ込み・館内配置(主催事業・共催事業)			
○ 有効回収数	91件			
○ 結果概要				
・ 催しの内容	良い79%	普通7%	良くない0%	無回答14%
・ 施設総合評価	良い64%	普通26%	悪い0%	無回答10%

＜神奈川近代文学館＞「神奈川近代文学館利用者満足度調査 平成24年度分」概要

○ 実施時期	平成25年10月5日～11月24日			
○ 実施方法	調査票の館内配置(展覧会「泉鏡花展」)			
○ 有効回収数	234件			
○ 結果概要				
・ 分かりやすさ	良い72%	普通23%	悪い0.4%	無回答 4.7%
・ 料金	良い64%	普通27%	悪い1%	無回答 6%
・ 展覧会全体評価	良い86%	普通11%	悪い0%	無回答 3%
・ 施設・設備全体評価	良い47%	普通24%	悪い0%	無回答28%

② 施設運営会議等による施設運営や実施事業の点検・検証

県立県民ホールについて「指定管理業務実績評価委員会」において、施設運営や実施事業の評価を実施

③ 施設運営全般についてのモニタリングの実施

県立県民ホールほか各指定管理施設で実施

(3) 情報通信技術の活用

24 情報の発信

文化芸術に関する情報や資料などを容易に入手できるよう、ホームページや電子メールを活用した情報提供を行いました。

① ホームページや電子メールを活用した文化芸術情報の提供 (4、19にも掲載)

事業内容
各種公演や展覧会等の情報や文化芸術に関する関心、理解を深めるために役立つホームページ「かな@ (アット)」を運営した。

事業内容	H24	H25	増減(%)
	アクセス数	アクセス数	アクセス数
イベントなどの県内観光情報ホームページの運営	8,730,000	10,010,000	14.7
イベントなどの県内観光情報をメールマガジンで配信	25,800	38,744	50.2

② 保存資料等の検索・閲覧等に関する情報通信技術の活用

事業内容	H24	H25	増減(%)
	アクセス数	アクセス数	アクセス数
インターネットによる県立神奈川近代文学館の蔵書検索システムの運営を行った。	34,387	37,579	9.3

25 利便性の向上

県立文化施設の利用手続において、窓口を訪れる負担などを軽減するため、情報通信技術を活用し、自宅から利用予約が可能となるよう、利用者サービスの向上に取り組みました。

① 施設利用予約システムの運用

事業内容	H24	H25	増減(%)
	アクセス数	アクセス数	アクセス数
県内公共施設のインターネットによる予約システムの運営を行った。	1,008,608	1,039,881	3.1

26 文化芸術にかかわる資料、作品、情報等の保存

県立文化施設等に保存・保管されている文化芸術にかかわる資料について、デジタル化、データベース化を図り、利用者の利便性を高める取組みを進めました。

① 県立文化施設等における収蔵資料等のデジタル化、データベース化の推進

事業内容	H24		H25	
	新規	累計	新規	累計
県立神奈川近代文学館の特別資料(原稿、自筆資料、書簡等)のデータベース化を行った。	4,476	180,153	4,435	184,588

(4) 文化芸術活動に対する支援の促進

27 文化芸術活動に対する個人や企業等からの寄附や支援の促進

県民を主体とした文化芸術活動をこれまで以上に充実させていくためには、様々な主体による文化芸術活動の支援が不可欠となっています。

文化芸術の振興に寄与する寄附税制等の周知などにより、個人や企業からの寄附や支援が活発に行われるよう取り組みます。

① 寄附税制等に関する周知

各財団において、ホームページやパンフレット等により寄附金に対する税優遇について周知を行った。

② 文化芸術団体への寄附の促進

神奈川フィルハーモニー管弦楽団の公益財団法人移行に向けて、横浜市、企業等「がんばれ！神奈フィル応援団」を設けて支援。平成25年8月末、公益財団法人への移行認定申請を行い、平成26年3月認定を受け、4月から新法人としてスタートした。

③ メセナ企業等に関する情報の提供

—

④ メセナ企業と芸術家とを結び付ける方策の検討

—

(5) 顕彰の実施

28 顕彰の実施

文化芸術活動で顕著な成果を収めた人や団体、また、文化芸術の振興に寄与した人や団体の顕彰を実施しました。

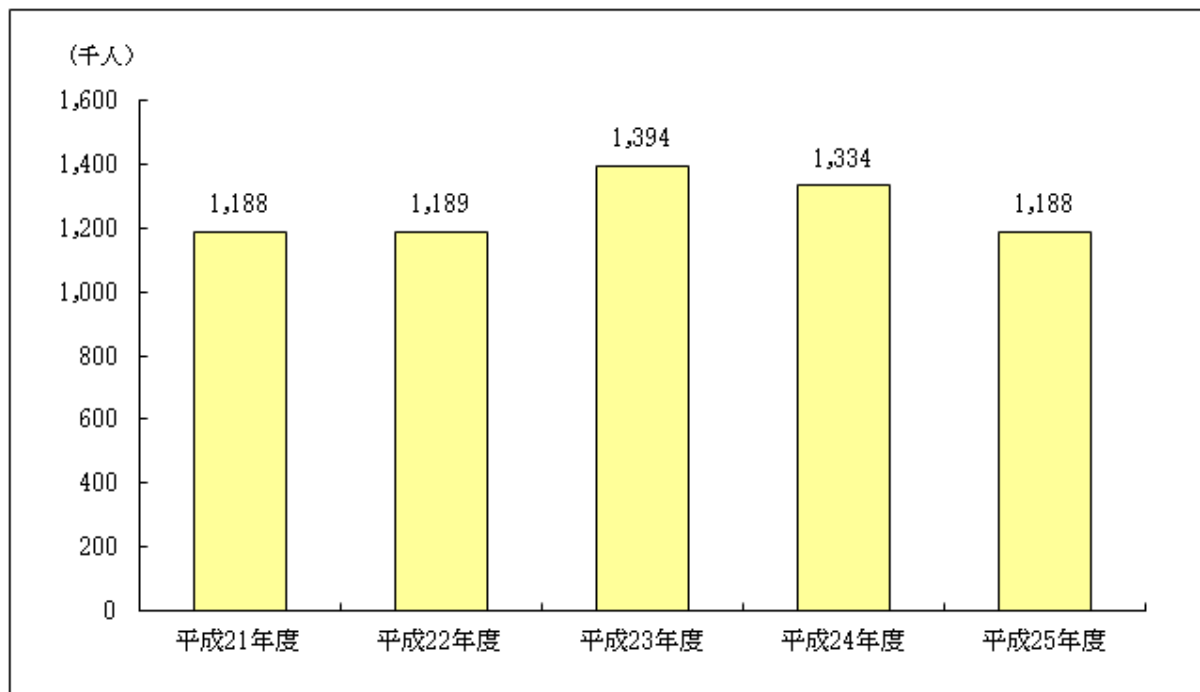
平成25年度は、学術、文化活動、社会福祉、芸能、芸術、文化活動など本県文化芸術の振興に寄与いただいた方々を表彰しました。

① 神奈川文化賞・未来賞等による顕彰の実施

神奈川文化賞	・今井 清一（学術） ・堀田 力（社会福祉）	・斎藤 文夫（文化活動） ・草笛 光子（芸能）
神奈川文化賞未来賞	・曾谷 朝絵（芸術）	・雑木囃子（文化活動）

Ⅱ 進行管理のための参考指標

1 県立文化施設*利用者数



* 「県立文化施設」：県民ホール（本館・神奈川芸術劇場）・音楽堂・かながわアートホール・青少年センター・近代美術館・近代文学館

2 文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識、満足度（全県）

文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識は高いが、満足度は低い。

質問項目	生活重要度		生活満足度	
	重要	重要でない	満たされている	満たされていない
文化や芸術を鑑賞したり、活動に参加できる場が身近に整っていること	48.6%	14.5%	21.1%	22.9%
自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること	67.8%	7.3%	14.1%	36.9%
自然や歴史・文化、景観など地域の特性を生かしたまちづくりが行われること	63.4%	6.3%	19.3%	17.3%

(平成25年度県民ニーズ調査)

3 文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識、満足度（地域別）

文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識は高いが、満足度は低い。

重要性に関する意識

(%)

満足度

(%)

文化や芸術を鑑賞したり、活動に参加できる場が身近に整っていること

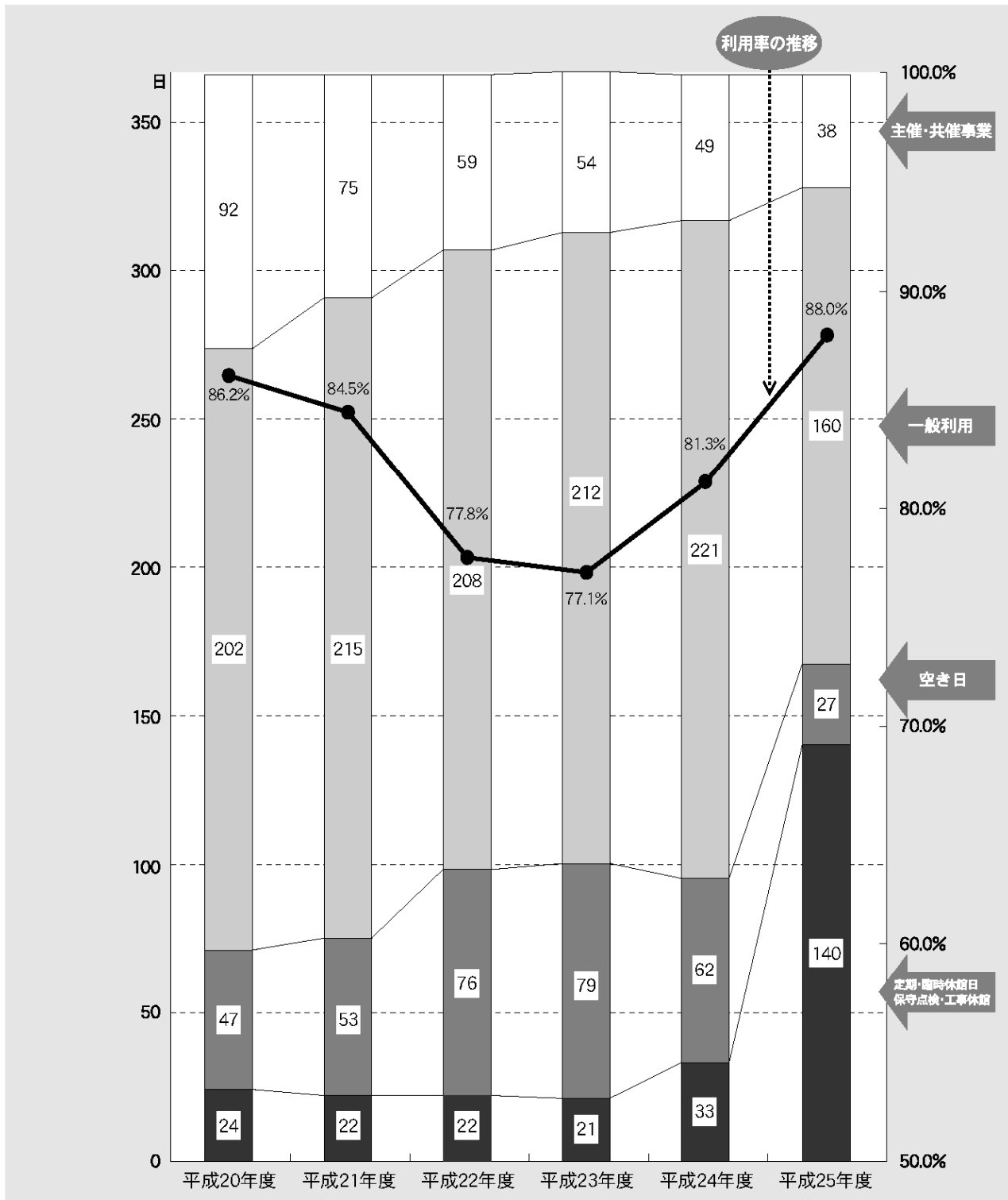
文化や芸術を鑑賞したり、活動に参加できる場が身近に整っていること

	全 体	非 常 に 重 要 で あ る	か な り 重 要 で あ る	ど ち ら と も い え な い	さ ほ ど 重 要 で な い	ま つ た く 重 要 で は な い	わ か ら な い	無 回 答
全体	1476 100.0	191 12.9	527 35.7	474 32.1	194 13.1	20 1.4	25 1.7	45 3.0
居住地域別								
横浜	565 100.0	90 15.9	196 34.7	168 29.7	75 13.3	7 1.2	12 2.1	17 3.0
川崎	204 100.0	25 12.3	82 40.2	70 34.3	17 8.3	2 1.0	2 1.0	6 2.9
相模原	113 100.0	11 9.7	47 41.6	36 31.9	12 10.6	2 1.8	1 0.9	4 3.5
横須賀三浦	121 100.0	14 11.6	43 35.5	40 33.1	19 15.7	4 3.3	-	1 0.8
県央	157 100.0	16 10.2	56 35.7	50 31.8	27 17.2	1 0.6	4 2.5	3 1.9
湘南	205 100.0	21 10.2	56 27.3	81 39.5	31 15.1	2 1.0	6 2.9	8 3.9
県西	64 100.0	8 12.5	32 50.0	17 26.6	7 10.9	-	-	-
無回答	47 100.0	6 12.8	15 31.9	12 25.5	6 12.8	2 4.3	-	6 12.8
性別								
全体	1476 100.0	191 12.9	527 35.7	474 32.1	194 13.1	20 1.4	25 1.7	45 3.0
男性	646 100.0	68 10.5	214 33.1	223 34.5	96 14.9	13 2.0	9 1.4	23 3.6
女性	782 100.0	117 15.0	297 38.0	239 30.6	92 11.8	5 0.6	16 2.0	16 2.0
無回答	48 100.0	6 12.5	16 33.3	12 25.0	6 12.5	2 4.2	-	6 12.5
年代別								
全体	1476 100.0	191 12.9	527 35.7	474 32.1	194 13.1	20 1.4	25 1.7	45 3.0
20～29歳	104 100.0	29 27.9	32 30.8	24 23.1	10 9.6	5 4.8	2 1.9	2 1.9
30～39歳	232 100.0	38 16.4	81 34.9	62 26.7	41 17.7	3 1.3	5 2.2	2 0.9
40～49歳	355 100.0	53 14.9	125 35.2	109 30.7	58 16.3	2 0.6	4 1.1	4 1.1
50～59歳	324 100.0	41 12.7	116 35.8	114 35.2	33 10.2	3 0.9	7 2.2	10 3.1
60～69歳	353 100.0	20 5.7	133 37.7	136 38.5	40 11.3	4 1.1	4 1.1	16 4.5
70歳以上	60 100.0	4 6.7	24 40.0	17 28.3	6 10.0	1 1.7	3 5.0	5 8.3
無回答	48 100.0	6 12.5	16 33.3	12 25.0	6 12.5	2 4.2	-	6 12.5

	全 体	十 分 満 た さ れ て い る	か な り 満 た さ れ て い る	ど ち ら と も い え な い	い あ ま り 満 た さ れ て い な い	ほ ん と ん ど 満 た さ れ て い な い	わ か ら な い	無 回 答
全体	1,476 100.0	22 1.5	290 19.6	620 42.0	264 17.9	74 5.0	147 10.0	59 4.0
居住地域別								
横浜	565 100.0	8 1.4	125 22.1	232 41.1	86 15.2	33 5.8	59 10.4	22 3.9
川崎	204 100.0	6 2.9	48 23.5	84 41.2	34 16.7	8 3.9	14 6.9	10 4.9
相模原	113 100.0	2 1.8	12 10.6	52 46.0	28 24.8	4 3.5	11 9.7	4 3.5
横須賀三浦	121 100.0	2 1.7	27 22.3	53 43.8	20 16.5	3 2.5	15 12.4	1 0.8
県央	157 100.0	1 0.6	23 14.6	68 43.3	33 21.0	8 5.1	19 12.1	5 3.2
湘南	205 100.0	2 1.0	36 17.6	88 42.9	37 18.0	10 4.9	22 10.7	10 4.9
県西	64 100.0	1 1.6	10 15.6	28 43.8	16 25.0	5 7.8	3 4.7	1 1.6
無回答	47 100.0	-	9 19.1	15 31.9	10 21.3	3 6.4	4 8.5	6 12.8
性別								
全体	1,476 100.0	22 1.5	290 19.6	620 42.0	264 17.9	74 5.0	147 10.0	59 4.0
男性	646 100.0	7 1.1	118 18.3	288 44.6	103 15.9	33 5.1	65 10.1	32 5.0
女性	782 100.0	15 1.9	163 20.8	316 40.4	151 19.3	38 4.9	78 10.0	21 2.7
無回答	48 100.0	-	9 18.8	16 33.3	10 20.8	3 6.3	4 8.3	6 12.5
年代別								
全体	1,476 100.0	22 1.5	290 19.6	620 42.0	264 17.9	74 5.0	147 10.0	59 4.0
20～29歳	104 100.0	3 2.9	36 34.6	29 27.9	10 9.6	7 6.7	15 14.4	4 3.8
30～39歳	232 100.0	7 3.0	52 22.4	94 40.5	37 15.9	7 3.0	31 13.4	4 1.7
40～49歳	355 100.0	4 1.1	73 20.6	146 41.1	67 18.9	22 6.2	36 10.1	7 2.0
50～59歳	324 100.0	8 2.5	60 18.5	143 44.1	55 17.0	19 5.9	30 9.3	9 2.8
60～69歳	353 100.0	-	52 14.7	165 46.7	72 20.4	14 4.0	27 7.6	23 6.5
70歳以上	60 100.0	-	8 13.3	27 45.0	13 21.7	2 3.3	4 6.7	6 10.0
無回答	48 100.0	-	9 18.8	16 33.3	10 20.8	3 6.3	4 8.3	6 12.5

(平成 25 年度県民ニーズ調査)

4 県立文化施設の利用率 県民ホール 大ホール



利用可能日数	341日	343日	343日	345日	332日	225日
実利用日数 (自主・共催含む)	294日	290日	267日	266日	270日	198日
実利用日数 (一般のみ)	202日	215日	208日	212日	221日	160日

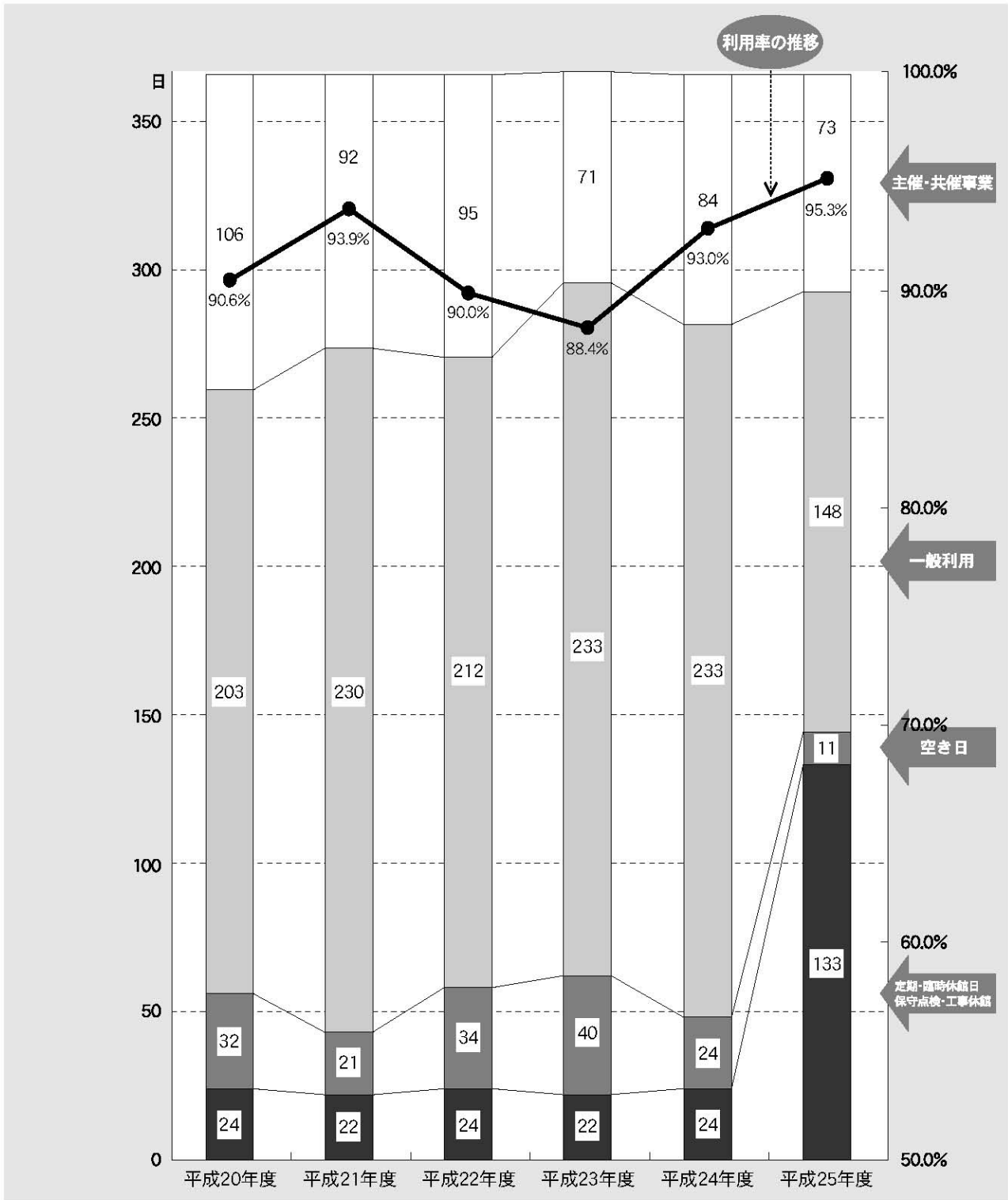
- ◆平成23年度は、東日本大震災の影響で、4月の利用が2日間減。
- ◆平成24年度より実状を踏まえ保守点検日数を増やしました。
- ◆平成25年12月2日から平成26年9月30日までは、改修工事のため休館。

<グラフの見方>

*棒グラフ：利用の内訳日数 <目盛はグラフの左側> *折れ線グラフ：利用率 <目盛はグラフの右側>

(「平成25年度 県民ホール年報」)

5 県立文化施設の利用率 県民ホール 小ホール



利用可能日数	341日	343日	341日	344日	341日	232日
実利用日数 (自主・共催含む)	309日	322日	307日	304日	317日	221日
実利用日数 (一般のみ)	203日	230日	212日	233日	233日	148日

- ◆平成23年度は、東日本大震災の影響で、4月の利用が3日間減。
- ◆平成24年度より実状を踏まえ保守点検日数を増やしました。
- ◆平成25年12月2日から平成26年9月30日までは、改修工事のため休館。

<グラフの見方>

*棒グラフ：利用の内訳日数 <目盛はグラフの左側> *折れ線グラフ：利用率 <目盛はグラフの右側>

(「平成 25 年度 県民ホール年報」)

6 県立文化施設の利用率 神奈川芸術劇場

ホー ル	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用可能日数	74日	315日	317日	315日
実利用日数（自主・提携含む）	51日	260日	222日	237日
実利用日数（一般のみ）	0日	88日	71日	87日
利用率	68.9%	82.5%	70.0%	75.2%

大スタ ジ オ	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用可能日数	113日	336日	336日	343日
実利用日数（自主・提携含む）	97日	245日	264日	321日
実利用日数（一般のみ）	0日	53日	61日	11日
利用率	85.8%	72.9%	78.6%	93.6%

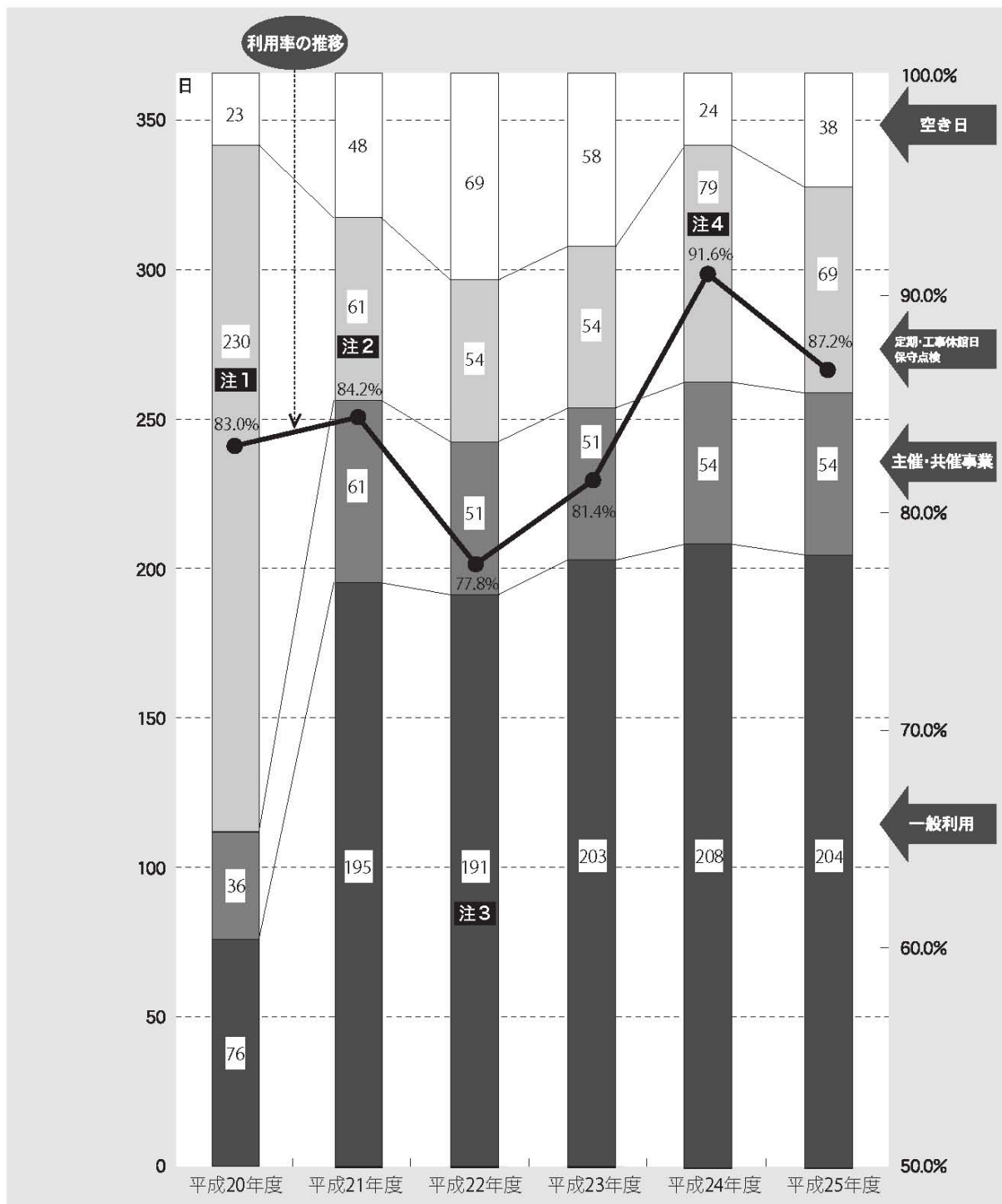
中・小スタ ジ オ	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用可能日数	126日	352日	351日	352日
実利用日数（自主・提携含む）	77日	262日	295日	256日
実利用日数（一般のみ）	4日	55日	25日	19日
利用率	61.1%	74.4%	84.0%	72.7%

ア ト リ エ	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用可能日数	124日	354日	353日	353日
実利用日数（自主・提携含む）	110日	223日	234日	261日
実利用日数（一般のみ）	2日	58日	40日	11日
利用率	88.7%	63.0%	66.3%	73.9%

※平成22年度は開館年度として自主事業中心の利用となっている。

（「平成25年度 県民ホール年報」）

7 県立文化施設の利用率 音楽堂



利用可能日数	★135日	☆304日	311日	312日	◆286日	296日
実利用日数 (自主・共催含む)	112日	256日	242日	254日	262日	258日
実利用日数 (一般のみ)	76日	195日	191日	203日	208日	204日

注1 ・ ★平成20年度は138日間のみ開館、後半212日間は耐震補強工事のため休館。

注2 ・ ☆平成21年度は17日間(4月17日まで)は耐震補強工事のため休館。

注3 ・ 平成22年度は、東日本大震災の影響で3月の利用予定が7日公演中止。

注4 ・ ◆平成24年度より年度当初に保守点検日数を予め定め、利用率の算定にあたっては利用可能日数から控除しました。
平成24年度は、舞台音響設備三点吊りマイク装置更新工事のため11日間利用不可。

<グラフの見方> *棒グラフ：利用の内訳日数はグラフの左側の目盛 *折れ線グラフ：利用率は右側の目盛

8 県立文化施設の利用率 かながわアートホール

利用日数・利用率

(日・%)

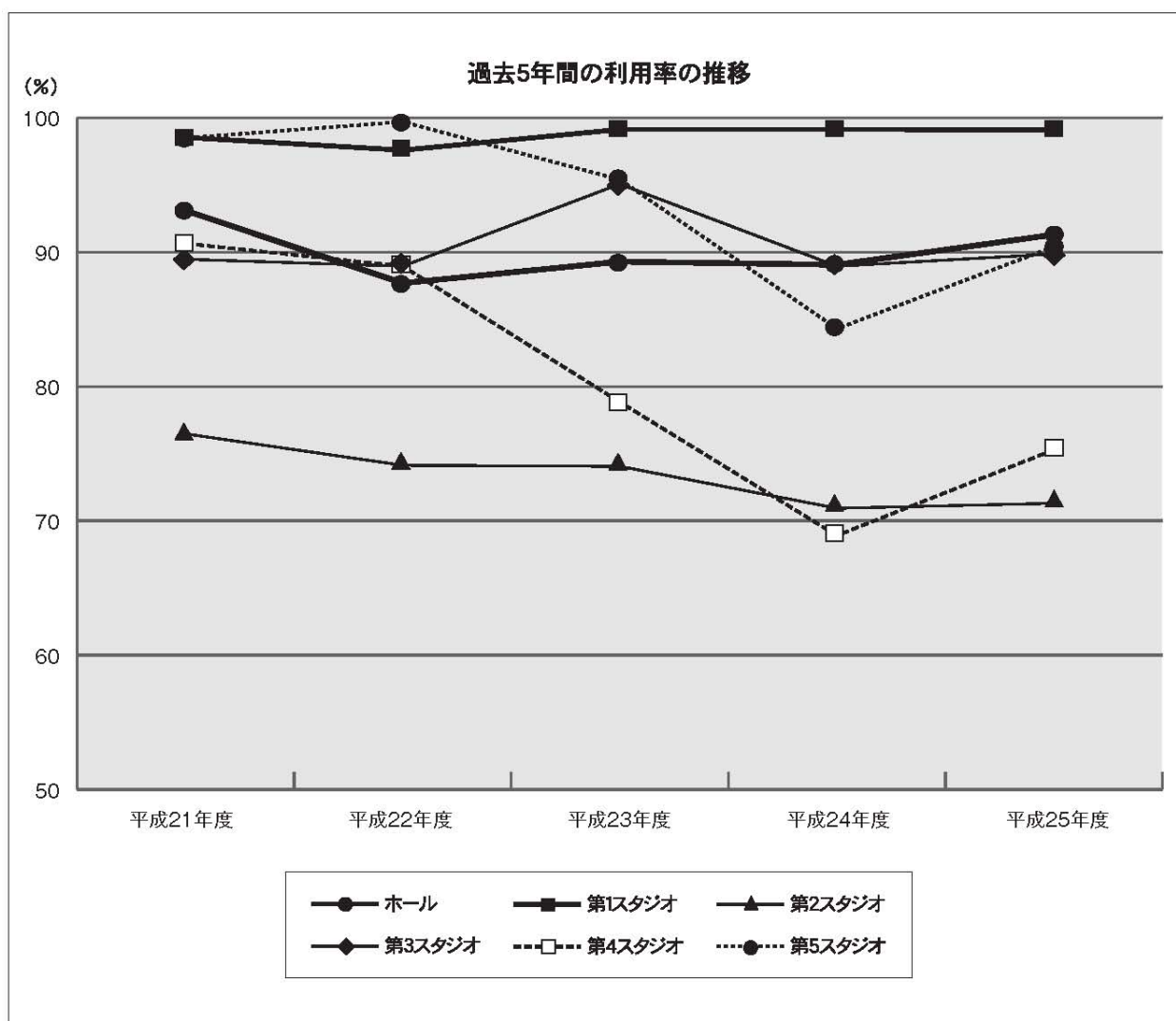
	開館日数	利用施設の内訳																							
		ホール				第1スタジオ				第2スタジオ				第3スタジオ				第4スタジオ				第5スタジオ			
		利用可能日	利用日数	利用率	空き日	利用可能日	利用日数	利用率	空き日	利用可能日	利用日数	利用率	空き日	利用可能日	利用日数	利用率	空き日	利用可能日	利用日数	利用率	空き日	利用可能日	利用日数	利用率	空き日
平成21年度	356	333	310	93	23	342	337	99	5	340	260	76	80	342	306	89	36	342	310	91	32	342	337	99	5
平成22年度	356	333	292	88	41	332	324	98	8	344	255	74	89	344	306	89	38	344	306	89	38	344	343	100	1
平成23年度	357	336	300	89	36	345	342	99	3	343	254	74	89	345	328	95	17	345	272	79	73	345	329	95	16
平成24年度	356	329	293	89	36	344	339	99	5	344	244	71	100	344	306	89	38	344	237	69	107	344	290	84	54
平成25年度	356	322	294	91	28	344	340	99	4	345	246	71	99	345	310	90	35	344	259	75	85	344	311	90	33

*開館日数の数え方 1年の日数から休館日(年末年始(12月28日～1月4日))を除いたもの

*利用可能日の数え方 ホール…開館日数から利用対象外日数(施設点検日等)を除いたもの

*利用率=利用日数/利用可能日数

*平成24年度より実状を踏まえ、施設点検日数等を増やしました。



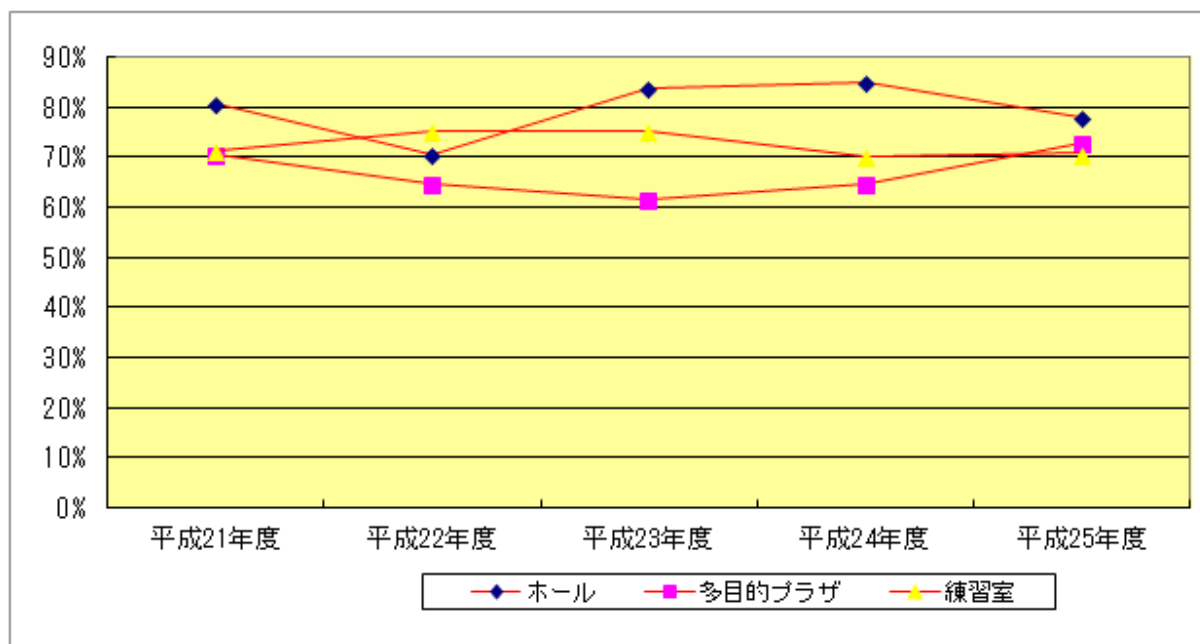
(「平成25年度 かながわアートホール年報」)

9 県立文化施設の利用率 青少年センター

利用日数・利用率

	利用施設の内訳								
	ホール			多目的プラザ			練習室		
	利用可能日数	利用日数	利用率	利用可能日数	利用日数	利用率	利用可能日数	利用日数	利用率
平成21年度	284	229	80.6%	323	228	70.6%	257	183	71.2%
平成22年度	304	214	70.4%	323	209	64.7%	318	239	75.2%
平成23年度	280	234	83.6%	325	200	61.5%	321	241	75.1%
平成24年度	292	248	84.9%	324	210	64.8%	326	229	70.2%
平成25年度	290	226	77.9%	320	233	72.8%	317	224	70.7%

過去5年間の利用率の推移



10 過去1年間に美術鑑賞等の文化芸術の鑑賞・活動を行ったことのある人の割合

	標本数	10歳以上 推定人口 (千人)	総数	スポーツ 観覧 (テレビ・ DVDなど は除く)	美術鑑賞 (テレビ・ DVDなど は除く)	演芸・演劇 ・舞踊鑑賞 (テレビ・ DVDなど は除く)	映画鑑賞 (テレビ・ ビデオ・ DVDなど は除く)	音楽会など による クラシック 音楽鑑賞	音楽会など による ポピュラー 音楽・歌謡 曲鑑賞	C D ・ テープ・ レコード などによる 音楽鑑賞	D V D ・ ビデオなど による映画 鑑賞(テレ ビからの録 画は除く)	楽器の演奏
全国	178,444	114,061	84.8	18.6	16.5	11.7	35.1	8.6	12.4	47.5	40.5	9.6
北海道	4,848	4,883	85.3	21.5	13.3	9.6	30.1	9.0	12.9	49.0	41.4	9.0
青森県	3,535	1,214	75.0	15.5	16.3	8.1	23.7	6.7	8.1	39.1	36.1	7.2
岩手県	3,002	1,175	79.4	17.6	10.6	11.6	24.1	7.6	12.5	40.3	34.5	8.8
宮城県	2,810	2,085	85.5	24.6	12.3	10.4	34.1	7.9	13.2	50.4	42.6	9.9
秋田県	3,682	965	80.6	18.6	12.9	9.8	22.6	6.0	9.1	38.8	32.9	7.3
山形県	3,986	1,035	81.7	16.7	11.8	8.9	32.5	6.3	9.6	40.7	36.9	7.5
福島県	3,127	1,780	82.4	13.9	11.2	7.3	23.5	7.1	9.0	45.0	36.8	7.5
茨城県	3,854	2,645	83.0	16.6	12.2	8.4	34.7	5.6	9.9	45.1	39.5	8.4
栃木県	3,682	1,785	82.8	15.0	11.9	9.3	35.0	6.8	10.0	43.9	39.2	8.3
群馬県	3,743	1,780	84.5	15.5	13.2	9.3	35.4	7.9	12.2	45.5	37.9	9.1
埼玉県	5,613	6,477	87.9	18.3	16.8	11.9	39.6	9.2	12.8	50.6	42.8	10.5
千葉県	5,005	5,584	86.2	18.2	17.8	12.5	38.5	8.7	12.1	48.9	41.4	10.2
東京都	5,125	11,998	88.5	20.5	23.7	18.3	43.3	12.3	15.8	56.2	48.2	11.9
神奈川県	5,603	8,127	88.7	18.2	21.4	13.8	42.2	10.2	14.5	54.0	43.6	11.0
新潟県	3,829	2,115	80.4	15.9	13.0	8.2	28.0	6.1	9.2	39.1	34.3	6.8
富山県	3,734	967	84.1	17.9	19.1	11.1	36.1	7.7	13.1	44.4	38.5	9.3
石川県	3,497	1,028	84.6	15.0	18.7	10.6	37.7	9.9	11.4	44.5	38.9	8.1
福井県	3,927	709	82.0	15.1	14.3	8.9	33.3	7.5	11.5	42.0	37.8	7.8
山梨県	3,362	767	84.5	18.9	15.7	10.2	30.5	8.4	12.7	44.6	39.8	10.4
長野県	3,660	1,907	84.2	15.8	17.8	9.3	28.2	10.6	13.2	44.6	37.3	10.6
岐阜県	3,651	1,847	83.8	15.9	13.7	10.7	33.4	7.7	10.8	43.4	38.2	8.3
静岡県	3,741	3,343	83.2	17.6	15.5	10.0	30.8	8.0	11.8	43.2	37.7	8.5
愛知県	5,788	6,596	86.6	21.7	16.7	13.1	37.8	9.1	13.5	49.7	42.0	10.8
三重県	3,548	1,646	84.2	16.9	12.5	9.7	33.5	6.3	13.1	46.8	39.6	8.2
滋賀県	3,576	1,251	86.6	15.6	15.4	10.7	37.1	7.6	11.8	48.8	41.7	11.2
京都府	3,406	2,359	84.9	16.5	20.1	14.6	36.4	9.9	12.8	48.4	39.2	9.9
大阪府	5,364	7,936	85.9	18.8	15.0	12.4	39.1	7.6	12.8	48.3	42.7	9.4
兵庫県	4,905	4,979	85.5	20.2	18.6	13.1	37.2	10.0	13.8	47.1	38.3	10.1
奈良県	3,609	1,252	87.1	15.8	18.8	13.4	38.0	8.7	14.1	50.2	40.9	10.4
和歌山県	3,279	890	82.0	14.1	12.0	9.4	30.6	6.1	10.2	42.0	34.0	8.1
鳥取県	3,603	516	80.6	15.7	16.4	8.3	22.6	7.5	9.8	40.7	34.6	8.1
島根県	3,684	629	79.5	17.3	16.8	10.3	23.4	8.6	10.4	38.1	31.3	9.2
岡山県	3,610	1,716	82.5	16.6	15.8	9.3	28.5	7.6	10.9	44.6	36.7	9.3
広島県	3,325	2,524	86.7	27.6	18.4	10.1	34.5	8.8	13.8	47.5	38.9	10.1
山口県	3,272	1,276	84.5	21.9	16.4	9.7	29.4	7.8	11.3	46.7	37.1	9.4
徳島県	3,396	690	79.1	15.3	11.7	9.4	27.1	5.8	9.0	37.2	32.9	7.1
香川県	3,327	877	82.5	13.8	13.7	9.2	29.3	7.4	10.8	42.3	36.4	8.5
愛媛県	3,227	1,263	80.7	14.0	14.4	8.1	27.4	6.4	9.4	42.1	36.0	8.2
高知県	2,783	671	75.7	11.5	13.8	7.1	24.4	5.9	9.2	34.9	34.7	7.4
福岡県	4,487	4,478	83.5	21.7	15.6	11.2	34.5	7.9	11.5	45.9	40.5	7.9
佐賀県	3,658	739	80.8	19.5	13.3	9.8	26.2	7.2	10.8	41.9	35.2	7.9
長崎県	3,508	1,239	79.4	14.3	12.8	8.9	24.3	7.6	9.9	39.6	34.2	6.8
熊本県	3,561	1,590	79.3	17.2	13.4	8.2	29.4	5.1	10.1	38.9	36.4	8.2
大分県	3,163	1,050	81.1	16.7	15.6	7.9	25.4	5.5	9.5	40.3	34.4	7.6
宮崎県	3,040	992	78.7	16.5	9.9	7.2	22.5	6.3	9.5	38.3	33.3	8.0
鹿児島県	3,155	1,485	80.3	16.8	11.7	8.9	26.0	6.3	9.6	41.9	36.9	8.2
沖縄県	3,154	1,203	79.7	16.7	10.4	9.0	31.1	4.7	7.2	43.5	40.7	9.6

	邦楽 (民謡、 日本古来の 音楽を含む)	コーラス・ 声楽	邦舞・ おどり	洋舞・ 社交ダンス	書道	華道	茶道	和裁・洋裁	編み物・ 手芸	趣味としての 料理・菓子作り	園芸・庭い じり・ガー デニング	日曜大工
全国	1.7	2.8	1.6	1.7	4.1	2.0	1.5	6.4	10.1	17.2	26.6	8.9
北海道	1.9	2.1	1.4	1.7	3.4	1.5	1.1	6.9	12.3	17.7	26.2	7.9
青森県	1.4	2.0	1.9	1.1	3.1	2.1	1.8	6.2	9.6	14.2	25.1	8.6
岩手県	1.9	3.0	3.6	0.9	3.2	1.9	1.7	6.7	9.8	16.8	27.9	9.1
宮城県	1.9	2.8	1.7	1.4	4.1	1.1	1.0	7.1	11.6	18.6	28.9	10.1
秋田県	1.8	1.7	1.9	0.8	2.9	2.1	1.6	6.8	9.7	15.6	25.8	9.6
山形県	2.0	2.0	2.0	1.2	3.8	2.2	1.5	5.6	10.5	16.6	28.1	9.1
福島県	1.7	2.3	1.0	1.1	3.9	1.8	1.0	5.7	8.8	14.9	28.1	9.7
茨城県	1.3	2.1	1.7	1.8	4.5	2.0	0.8	6.7	8.9	18.1	29.7	10.7
栃木県	1.1	2.3	1.1	1.7	4.6	1.7	1.3	5.8	8.9	16.1	30.5	9.4
群馬県	1.7	2.5	1.9	1.9	4.1	1.6	1.0	6.2	9.7	17.0	31.1	9.9
埼玉県	1.9	3.1	1.4	2.2	4.4	1.7	1.3	6.4	10.5	17.4	27.5	9.7
千葉県	1.8	3.3	1.4	2.2	3.9	1.6	1.3	6.3	10.5	17.8	29.9	9.1
東京都	2.1	4.1	1.5	2.6	4.0	1.9	2.1	7.0	10.7	19.2	23.3	8.0
神奈川県	1.6	3.4	1.4	2.7	3.9	1.8	1.3	7.4	11.4	19.2	26.8	9.0
新潟県	1.8	1.6	1.6	1.5	3.6	1.7	1.1	5.5	8.5	13.5	26.0	8.2
富山県	2.3	2.2	2.1	1.1	4.9	2.7	2.1	5.7	9.3	16.6	27.3	8.4
石川県	1.7	1.8	1.7	1.3	3.8	2.8	2.2	5.8	9.3	16.0	26.2	8.2
福井県	1.3	1.8	2.0	1.4	3.9	2.4	2.0	5.0	8.8	15.9	24.5	8.5
山梨県	1.7	3.1	2.1	1.6	5.8	2.0	1.6	6.6	11.1	17.0	30.7	10.4
長野県	1.9	3.9	1.6	1.3	4.3	1.6	1.7	6.4	10.9	19.3	31.6	9.9
岐阜県	1.6	2.5	1.7	1.4	4.7	2.3	2.0	5.7	9.2	17.6	28.6	9.5
静岡県	1.7	2.4	1.9	1.1	4.5	2.1	1.2	6.5	9.3	16.8	27.5	8.8
愛知県	1.7	2.6	1.4	1.4	4.3	1.9	1.6	6.6	10.2	16.7	26.2	7.9
三重県	1.4	2.4	2.0	1.1	4.7	2.3	1.6	6.1	8.7	17.2	28.5	9.5
滋賀県	2.0	2.6	1.0	1.3	4.3	2.4	2.1	6.7	9.9	19.2	29.4	11.3
京都府	1.8	3.5	1.3	1.6	4.2	2.8	1.9	6.4	10.6	16.3	23.5	8.7
大阪府	1.8	2.5	1.3	1.5	3.8	2.2	1.7	6.5	9.9	17.0	21.2	8.8
兵庫県	1.2	3.5	1.0	1.3	4.4	2.0	1.4	6.4	11.4	17.3	26.9	8.4
奈良県	1.7	3.3	1.6	1.4	4.8	3.5	2.6	7.0	11.5	20.5	31.5	9.7
和歌山県	0.8	2.1	1.5	1.1	3.8	2.1	1.2	6.5	10.8	16.3	29.3	10.9
鳥取県	1.2	2.8	1.9	1.0	3.8	3.0	2.1	5.7	8.1	16.2	28.2	9.2
島根県	1.8	2.9	2.2	1.0	3.5	3.1	2.0	5.2	10.6	16.8	29.3	9.0
岡山県	1.6	2.0	1.5	1.3	4.1	2.7	2.1	6.0	10.1	17.0	30.2	9.1
広島県	2.1	3.0	1.4	1.4	4.9	3.0	1.6	6.0	10.1	16.1	27.9	9.9
山口県	1.6	3.1	1.7	1.8	4.1	3.0	2.3	6.7	10.7	16.9	31.1	9.6
徳島県	1.6	1.9	3.2	0.7	3.4	2.4	1.7	4.5	7.7	14.3	27.3	8.8
香川県	1.6	2.1	1.8	1.3	4.3	3.0	2.1	5.5	9.9	15.2	29.2	9.4
愛媛県	1.7	1.8	1.6	0.6	3.7	2.4	1.3	6.4	8.7	17.2	29.7	8.8
高知県	1.5	1.8	2.0	1.2	2.9	1.4	1.0	5.5	7.6	13.4	24.3	7.3
福岡県	1.6	2.2	1.5	1.5	4.1	1.9	1.1	6.5	9.4	15.1	23.8	7.2
佐賀県	1.8	1.7	2.0	1.3	4.5	2.5	1.1	5.3	8.1	15.9	26.9	8.4
長崎県	1.3	2.8	2.0	1.2	5.1	1.8	1.2	6.2	10.2	15.4	26.1	9.3
熊本県	1.3	2.0	2.0	1.7	3.7	2.0	1.0	5.2	8.3	16.6	26.9	8.2
大分県	2.2	1.5	2.0	1.1	3.7	1.6	1.5	5.1	9.1	17.7	27.2	7.8
宮崎県	0.8	1.8	1.3	1.0	4.3	1.8	1.1	5.3	7.8	16.5	27.1	9.2
鹿児島県	1.2	2.3	3.3	1.6	3.9	1.5	0.6	5.9	8.6	16.2	28.9	9.7
沖縄県	3.5	1.9	3.1	1.6	3.0	0.9	0.6	4.9	7.2	15.9	20.8	10.2

	絵画・彫刻 の制作	陶芸・工芸	写真の 撮影・ プリント	詩・和歌・ 俳句・小説 などの創作	趣味 としての 読書	囲碁	将棋	パチンコ	カラオケ	テレビゲー ム・パソコ ンゲーム (家庭で行う もの、携帯 用を含む)	遊園地、 動物園、 水族館 などの見物	キャンプ	その他
全国	3.2	2.2	25.0	2.2	39.5	1.3	3.4	10.0	29.0	33.3	31.5	5.5	6.6
北海道	2.7	1.9	24.2	2.0	39.4	1.9	3.4	12.5	29.6	35.7	28.4	8.4	7.2
青森県	1.9	1.8	16.6	1.6	31.0	1.0	2.9	10.7	22.8	27.6	19.1	4.9	5.0
岩手県	2.4	2.0	20.2	1.8	34.2	1.0	2.6	10.1	22.7	27.9	19.2	4.0	4.5
宮城県	3.0	2.4	25.3	2.1	41.6	1.1	4.5	11.7	30.7	32.9	27.0	4.1	6.1
秋田県	1.8	1.6	17.1	1.8	31.2	1.3	2.8	12.0	22.4	26.8	22.8	3.3	5.8
山形県	2.7	2.2	21.1	1.9	32.8	1.2	3.2	8.7	24.3	27.9	23.0	4.6	6.6
福島県	2.4	1.8	21.6	1.9	35.8	1.2	3.7	10.8	25.7	30.2	25.6	3.4	5.8
茨城県	3.0	2.3	23.5	2.1	36.7	1.7	3.5	9.7	27.7	32.0	30.6	3.9	6.6
栃木県	2.8	2.1	24.1	2.1	33.2	0.8	3.0	10.4	26.8	32.3	32.1	3.3	6.1
群馬県	2.5	2.0	24.1	2.0	36.5	1.0	3.3	9.4	28.9	31.4	30.2	4.8	5.7
埼玉県	3.4	2.2	27.2	2.3	42.3	1.1	3.6	8.4	31.5	35.1	34.7	5.6	6.7
千葉県	3.7	2.5	27.2	2.5	43.2	1.5	3.6	8.8	30.0	35.5	34.6	4.5	6.7
東京都	3.8	2.6	31.3	2.8	49.6	1.5	3.4	7.2	34.1	37.1	38.1	5.6	8.2
神奈川県	4.3	2.5	31.5	3.2	48.6	1.4	3.6	8.3	32.3	38.9	37.5	6.0	8.4
新潟県	2.0	1.3	18.7	1.3	32.2	0.6	2.7	9.1	23.6	28.8	23.7	2.9	6.8
富山県	3.3	2.6	21.1	2.4	36.9	1.6	4.1	11.0	26.1	29.8	31.1	4.3	5.5
石川県	2.5	1.4	21.5	2.2	35.7	1.1	2.7	11.2	27.8	32.8	29.9	3.4	5.9
福井県	2.2	1.9	19.4	1.9	32.4	1.0	3.5	13.2	24.9	31.1	27.7	4.0	6.1
山梨県	3.1	2.4	23.8	2.9	35.7	1.1	3.0	9.8	28.8	30.4	28.8	4.0	7.0
長野県	4.0	2.0	23.4	2.8	39.3	1.3	4.0	9.4	27.2	29.8	27.6	5.6	7.0
岐阜県	2.6	2.2	23.5	1.7	34.1	1.3	2.8	11.1	25.9	31.5	29.4	4.9	5.2
静岡県	2.8	1.9	22.4	2.1	36.1	1.1	3.2	11.9	25.6	31.6	32.7	5.4	5.5
愛知県	2.8	2.5	25.7	1.7	38.9	1.3	3.5	12.2	29.5	36.5	35.7	6.6	6.4
三重県	3.1	2.6	23.5	1.8	35.5	1.0	3.4	12.6	26.9	33.2	30.2	6.3	5.7
滋賀県	3.5	2.5	25.9	2.5	39.0	0.9	3.2	10.6	30.1	36.5	32.1	5.7	7.7
京都府	3.7	2.6	25.5	2.6	39.8	1.2	3.9	8.0	29.3	32.9	33.2	5.1	6.4
大阪府	3.3	2.5	25.9	1.9	38.7	1.6	4.0	10.2	31.2	35.7	31.8	7.4	6.6
兵庫県	3.3	2.3	26.5	2.0	41.1	1.6	4.2	9.1	27.3	33.7	34.3	5.2	6.2
奈良県	4.1	2.5	27.1	2.7	43.2	1.8	3.0	8.4	30.6	33.0	32.3	5.7	7.5
和歌山県	2.7	1.7	20.9	2.6	33.4	1.0	2.6	10.5	25.2	30.3	26.6	4.5	5.9
鳥取県	2.6	1.6	19.4	2.3	34.3	1.2	3.4	9.3	22.2	27.2	24.5	3.4	5.7
島根県	2.7	1.8	20.2	1.9	33.0	1.5	3.5	10.8	22.2	27.2	26.6	3.4	4.9
岡山県	3.2	2.1	21.7	2.0	35.1	1.7	3.5	9.0	24.5	31.9	27.2	4.5	6.4
広島県	3.3	2.0	25.3	1.7	38.8	1.4	3.5	11.3	28.3	33.3	34.2	6.5	7.3
山口県	3.0	1.6	23.5	1.9	37.5	1.6	3.2	10.5	26.6	29.8	28.8	4.3	6.4
徳島県	2.7	1.6	18.5	2.4	31.9	1.2	3.7	10.8	24.9	28.2	26.2	3.8	4.8
香川県	2.5	1.8	21.9	1.8	35.9	1.5	4.2	10.0	22.2	29.7	29.1	5.2	5.6
愛媛県	2.7	1.6	20.8	2.4	33.5	1.0	3.4	11.2	26.2	28.8	26.0	4.2	5.3
高知県	2.3	1.7	16.9	2.5	29.3	0.7	2.7	12.0	21.8	25.5	24.9	3.8	5.2
福岡県	3.1	2.0	22.0	2.1	37.5	1.3	2.9	11.6	29.5	31.0	27.4	6.0	6.1
佐賀県	1.9	1.7	18.7	1.5	31.0	1.1	2.7	11.1	23.6	28.4	24.5	3.4	5.1
長崎県	3.1	1.6	20.0	1.8	34.6	1.4	2.2	10.8	24.0	26.1	25.0	4.5	5.1
熊本県	2.5	1.7	21.8	1.4	31.3	0.6	2.2	13.1	27.4	27.7	26.3	5.3	5.2
大分県	2.4	1.7	20.7	2.3	32.1	1.4	2.7	11.6	26.0	28.6	26.6	4.8	5.0
宮崎県	2.3	1.5	20.2	2.0	31.2	1.0	2.8	13.9	26.3	26.5	27.3	5.9	4.5
鹿児島県	2.8	2.6	20.4	2.1	32.9	1.1	4.1	12.6	27.9	26.7	28.2	5.3	5.6
沖縄県	2.1	1.5	17.3	1.7	31.0	1.5	3.4	4.9	35.4	25.5	24.5	6.7	4.6

平成 23 年「社会生活基本調査」都道府県、趣味、娯楽の種類別行動者

平成 23 年 社会生活基本調査 調査対象 全国約 8 万世帯のふだん住んでいる 10 歳以上の世帯員（第 1 次抽出単位を平成 17 年調査の調査区とし、第 2 次抽出単位を世帯とする層化段抽出法）
調査期日 平成 23 年 10 月 20 日（5 年ごと）
調査方法 調査員による調査票の配布及び収集

Ⅲ 年次報告のまとめ（文化芸術振興審議会意見）

1 県民の文化芸術活動の充実について

2020年のオリンピック・パラリンピック競技大会の開催地が東京に決定し、文化庁からは、日本が「世界の文化芸術の交流のハブ」となることを目標とした「文化芸術立国中期プラン」が公表され、文化力の計画的強化が図られようとしています。

同プランでは、強固な文化力の基盤形成のための施策の一つとして人材育成が掲げられていますが、次代の才能の発掘・育成のためには、普及啓発や鑑賞機会の充実が重要となります。

県においては、鑑賞機会の充実に係る実施回数は増加が見られるものの、文化芸術に関する関心、理解を深めるための普及啓発に係る実施数及び参加者数、並びに鑑賞機会の充実に係る入場者数は減少しています。これには、県民ホール本館の改修工事に伴う休館が影響しているものと思われ、県の取組みが十分に県民に周知されているのか、また県の施策が県民ニーズに即したものになっているのか、若干の懸念が残るところです。

県民ニーズ調査の結果によれば、居住地域により文化芸術の鑑賞や体験に関する満足度に差がありますので、満足度の低い地域における取組みを充実させるなど、今後の工夫が望まれます。

2 文化資源を活用した地域づくりの推進について

文化芸術に関する交流の推進は、地域間、国際間ともに概ね安定した取組みが進められています。今後、オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、グローバルな視野を持つ人づくりを進めるためには、これらの取組みは有効であり、一層積極的に多文化理解を推進していく姿勢が必要です。

事業開始から2年目を迎えた「マグカル」事業では、横浜三塔に代表されるハード面の資源の活用に留まらず、マグカル劇場による人材発掘・育成のようなソフト面での資源活用に関する取組みが始まりました。また、「リ・古典プロジェクト」により、神奈川ゆかりの文化遺産を新しい発想で活用し、伝統文化の魅力を再発信するという画期的な取組みも行われましたが、いずれも横浜市中区周辺での開催でした。

今後、「マグカル」の取組みを横浜市中区周辺のみでなく全県に広め、県内各地の伝統的な文化資源等を活用することは、資源の有効活用のみでなく「マグカル」の知名度向上にもつながるものと考えられます。また、人材育成については、パフォーマンスアーツに関するものが充実してきていますが、今後は他の分野の人材育成や活用なども検討するなど、より多様性に富んだ資源の活用により、県民の文化芸術への理解促進が図られることが望まれます。

3 文化芸術の振興を図るための環境整備

文化施設は文化芸術振興を図る拠点となるものですが、一部の施設では老朽化が顕著であり、バリアフリーにも対応できていないなど、県民の利用促進を妨げるような状況が見受けられます。

県民ホール本館については外壁等建物の改修工事が実施されたところですが、設備の老朽化対策も施設の機能維持のためには重要です。

開館から年数を経た施設については、当時とは周辺地域の状況や県民のニーズが変化していることも考えられ、今後のあり方を整理しつつ、整備の手法について検討していくことが必要であると考えます。

また、劇場法制定以降、人材育成等のソフトの機能を充実して施設の効用を発揮していくことが求められていますが、文化施設における参加体験型（ワークショップ）事業の実施回数が減少し、参加者数は増加しています。これは、神奈川芸術劇場（K A A T）の事業構成の変更による影響が大きいものと思われます。全国でも数少ない創造型劇場として、より効果的に専門の人材の養成や資質の向上が図れる事業構成等について工夫を重ね、構築していくことを期待します。

その他、音楽堂では子どもたちを対象とした体験型コンサートやアウトリーチ事業、県民ホール本館では文化庁補助を活用した他文化施設との共同制作によるオペラの制作・上演、歴史博物館・神奈川近代文学館などの連携によるミュージアム・クイズラリーなど、施設の特長や連携を活かした事業が実施されており、今後も引き続きこのような取組みを推進していただきたいと思えます。

4 まとめ

東日本大震災の復興が徐々に進み、社会的には明るい兆しも見え始めました。県においては平成 26 年度当初予算が 3 年ぶりに増額となったものの、平成 25 年度においては、県をはじめ各自治体の財政状況は厳しく、この状況は当分続くものと思えます。

本報告のデータからも、予算措置等の状況により事業の廃止や縮小などを余儀なくされている状況が見て取れますが、それぞれの施設や実施団体では、地域や教育機関との連携強化や実施方法の見直しなどにより、より効果的な事業の展開を工夫しているようです。

県民ニーズや公的機関の役割を考えると、実施回数や参加人数に結びつき難くても、地域や子どもたちにとって重要なものや有効なものもありますので、そのような取組みも大切にしながら、広い視点で県民の文化芸術に関する環境整備や資源の有効活用に取り組まれることが望まれます。

IV 平成 21～25 年度を振り返って（文化芸術振興審議会意見）

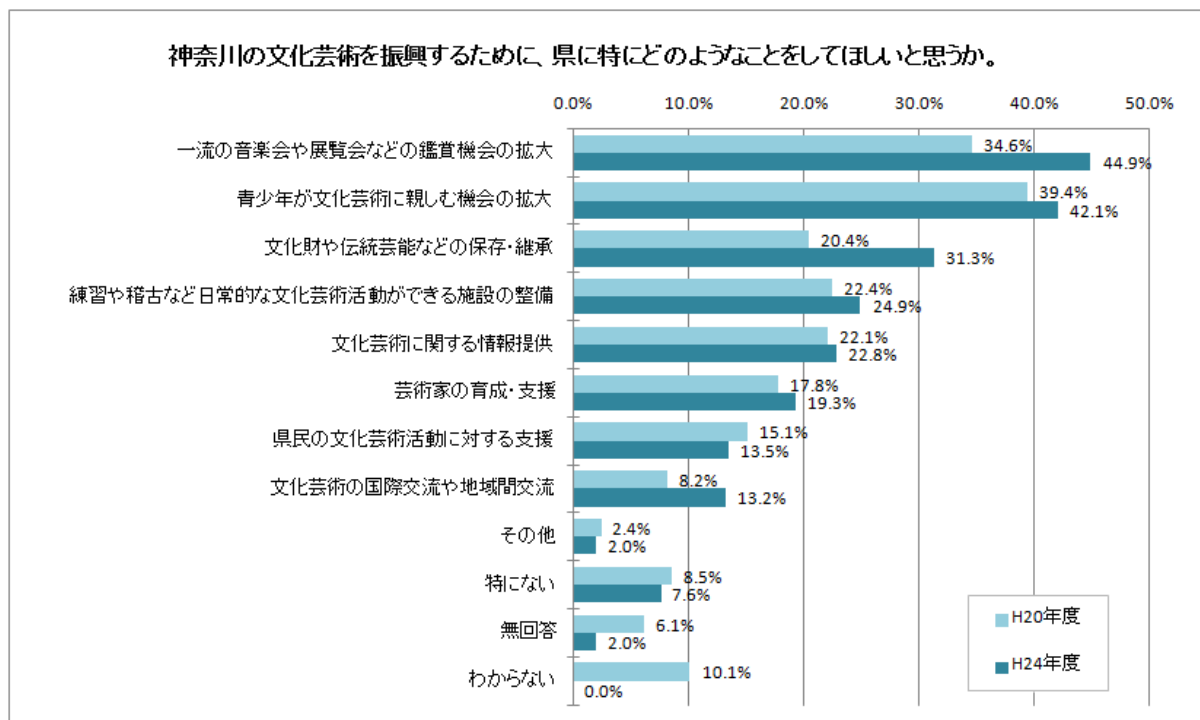
1 文化芸術を取り巻く状況の変化

本計画（第 1 期計画：平成 21～25 年度）に次ぐ改定計画（第 2 期計画：平成 26～30 年度）の中でも述べていますが、本計画期間中に文化を取り巻く状況について、次の 5 点の変化がありました。

1 点めは、東日本大震災からの復興の過程で、文化芸術の役割が再認識され、感動によって勇気や希望を取り戻し、対話を促す等の力が明らかになりました。また、地域の伝統芸能等の文化資源の保存・継承の必要性が強く認識されるとともに、それらの文化資源が地域コミュニティの創造と再生の力を有することが認められました。

2 点めとして、「第 9 回神奈川県・遼寧省・京畿道友好交流会議」で締結された合意書の項目には、「3 地域の文化の発展と相互理解を図るため、音楽や伝統芸能など多様な文化交流を推進する」ことが盛り込まれており、文化を通じた交流、ネットワーク作りの機運が高まっています。

これらは、県民が県に求めることの変化にも見て取れ、平成 20 年度と 24 年度を比較すると、「一流の音楽会や展覧会などの鑑賞機会の拡大」（34.6%→44.9%）、「文化財や伝統芸能などの保存・継承」（20.4%→31.3%）、「文化芸術の国際交流や地域間交流」（8.2%→13.2%）の 3 つの選択肢が比較的大きく伸びています。また、「青少年が文化芸術に親しむ機会の拡大」（39.4%→42.1%）は伸びが少ないものの、2 回の調査を通じて高めの割合を示しており、県民が、文化芸術を個人の教養や趣味としてだけでなく、地域の財産や資源として認識していることが推察されます。

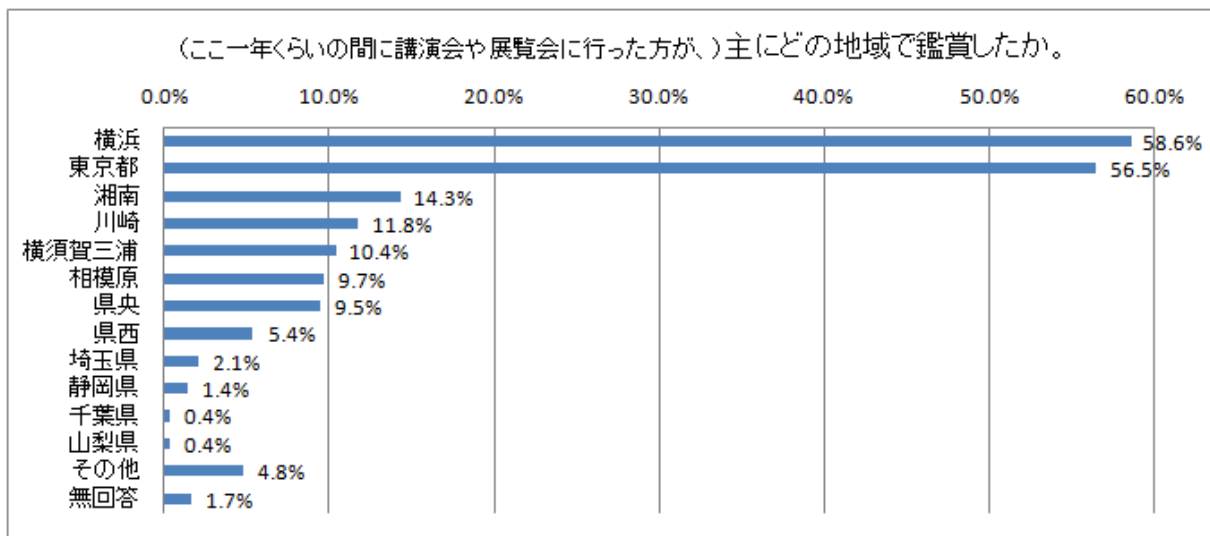


（平成 20、24 年度県民ニーズ調査）

3点めとして、公立の劇場、音楽堂等の意義を再確認させる「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」（劇場法）が制定されました。同法には、地方公共団体の役割、国際交流の促進や学校教育との連携等が明記されています。そして、法の制定を踏まえて、県の拠点施設等においては、法の趣旨に基づいた取組みも進められています。（P3「①県立文化施設での公演事業の実施」等参照）

4点めは、交通網や劇場の整備により、東京への文化芸術拠点整備が強化されたことです。その後、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定があり、同大会での文化プログラムの実施を考えると、今後この傾向はさらに強まる可能性があると思われます。

平成24年度県民ニーズ調査では、文化芸術を鑑賞した人と鑑賞地域は、横浜と東京がそれぞれ約6割と拮抗していますが、今後東京への文化芸術の一極集中も懸念されます。

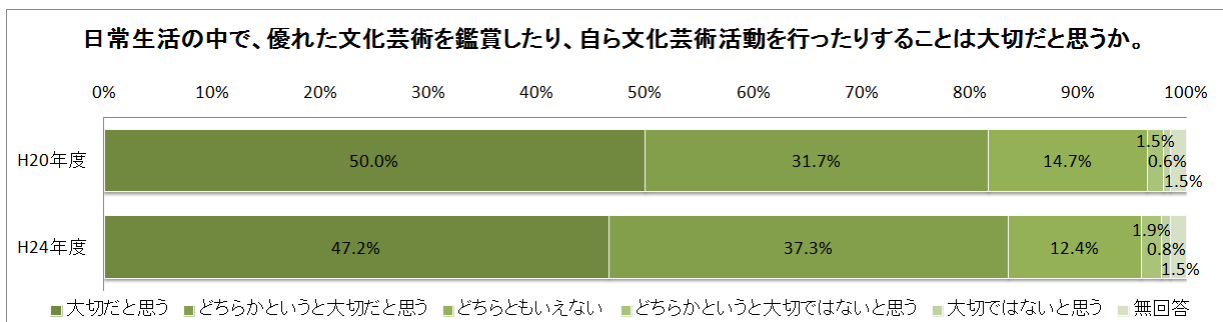


（平成24年度県民ニーズ調査）

5点めとして、神奈川芸術劇場が平成23年に開館し、県民の文化芸術の鑑賞機会の提供は充実の度合いを深めています。一方、県内の文化振興拠点施設は老朽化しているものもあり、維持保全の実施が課題となっていることが挙げられています。

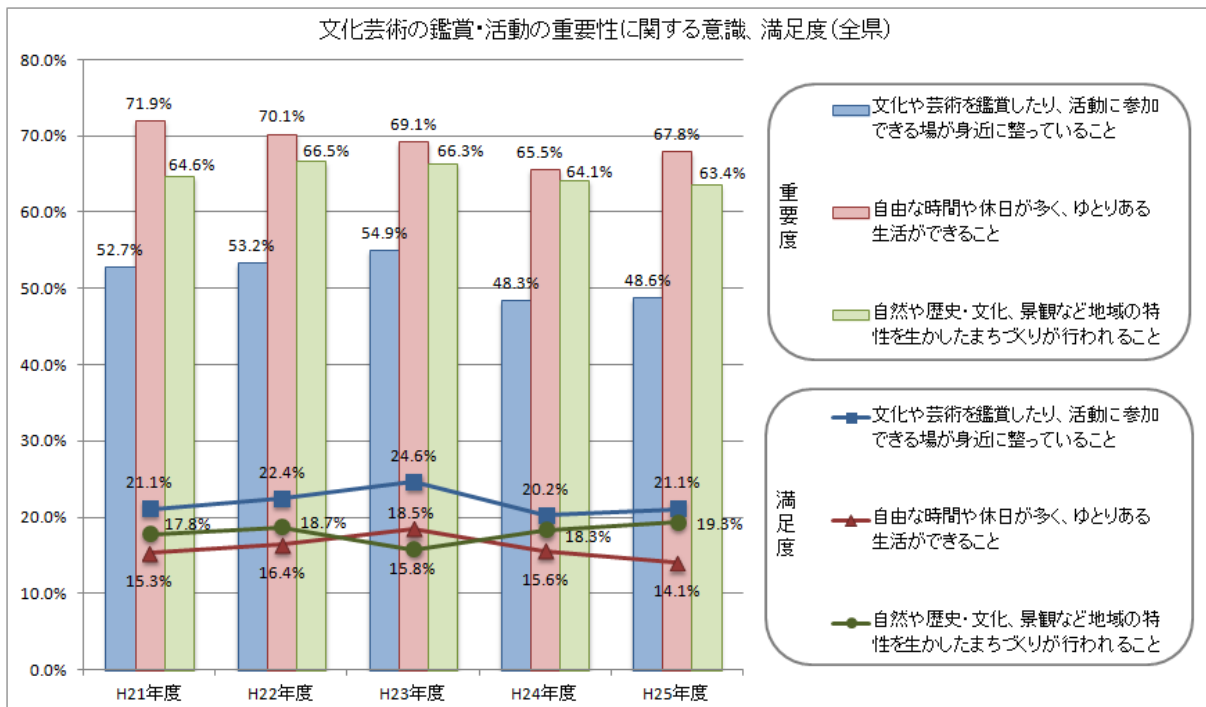
2 県民の文化芸術に関する意識等の状況

平成20年度と平成24年度の県民ニーズ調査によると、「日常生活の中で、優れた文化芸術を鑑賞したり、自ら文化芸術活動を行ったりすることは大切だと思うか。」との質問で、「大切」との回答（「大切だと思う」と「どちらかという大切なと思う」の合計、81.7%→84.5%）がいずれも8割を超えています。



（平成20、24年度県民ニーズ調査）

また、「文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識、満足度（全県）」によると、5年間を通じて重要度は50%前後、満足度は20%代前半を推移しています。



（平成 21～25 年度県民ニーズ調査）

これらの調査結果から、文化芸術に関する県民の意識や満足度は、大きく変化していないことがわかります。

3 今後の課題

本計画期間中には、神奈川県美術展や神奈川県文化賞による顕彰のような既存の取組みの実施のほか、神奈川県芸術劇場（K A A T）の開設、マグネット・カルチャー事業の開始など新たな取組みも始まりました。

そして、本計画の総合的かつ長期的な目標として、本県の目指す姿を、

- (1) 真にゆとりと潤いの実感できる心豊かな県民生活の実現
- (2) 個性豊かで活力に満ちた地域社会の発展

として、基本目標に設定しています。

しかし、前述のとおり、県民の意識や満足度等にはまだ変化が少なく、引き続き努力が必要と考えられます。

県民ニーズの状況を踏まえ、改定計画では次の5つの重点施策が掲げられています。

【重点施策1】 地域の伝統的な文化芸術の保存、継承、活用

⇒めざす方向性：伝統文化と温かいコミュニティが息づいている、かながわへ

【重点施策2】 次代を担う子ども・青少年の文化芸術活動の充実

⇒めざす方向性：豊かな感性、創造性を持った子ども・青少年が育つ、かながわへ

【重点施策3】 国際文化交流の充実

⇒めざす方向性：多様性を受け入れ、世界に認められる、かながわへ

【重点施策4】 文化芸術事業の発信力の強化（マグカルのブランド力の向上）

⇒めざす方向性：文化芸術を求めて人々が集う、かながわへ

（「マグカル」のブランド力の向上を目指して）

【重点施策5】 文化芸術の振興を図るための環境整備

⇒めざす方向性：他の重点施策の取組みの基盤となる施設の充実

また、東京オリンピック・パラリンピックの開催決定を受けて平成26年8月に策定された「オリンピック・パラリンピックのための神奈川ビジョン2020」では、誰もが楽しめるマグネット・カルチャーとしてオリジナルで多彩な魅力あるコンテンツを創出し、神奈川からオリンピック・パラリンピックを盛り上げる取組みについて記載されています。

オリンピック憲章では「文化プログラム」の実施が定められており、大会の開催は文化芸術施策の強化・促進を図る契機ともなり得るものです。大会に関連した取組みを一過性のイベントで終わらせず、大会後まで続く中長期的な地域の活性化と結び付ける工夫が必要です。

重点施策を中心に、東京オリンピック・パラリンピックも見据えつつ、基本目標の達成に向けて、今後も各事業を推進されることを期待します。